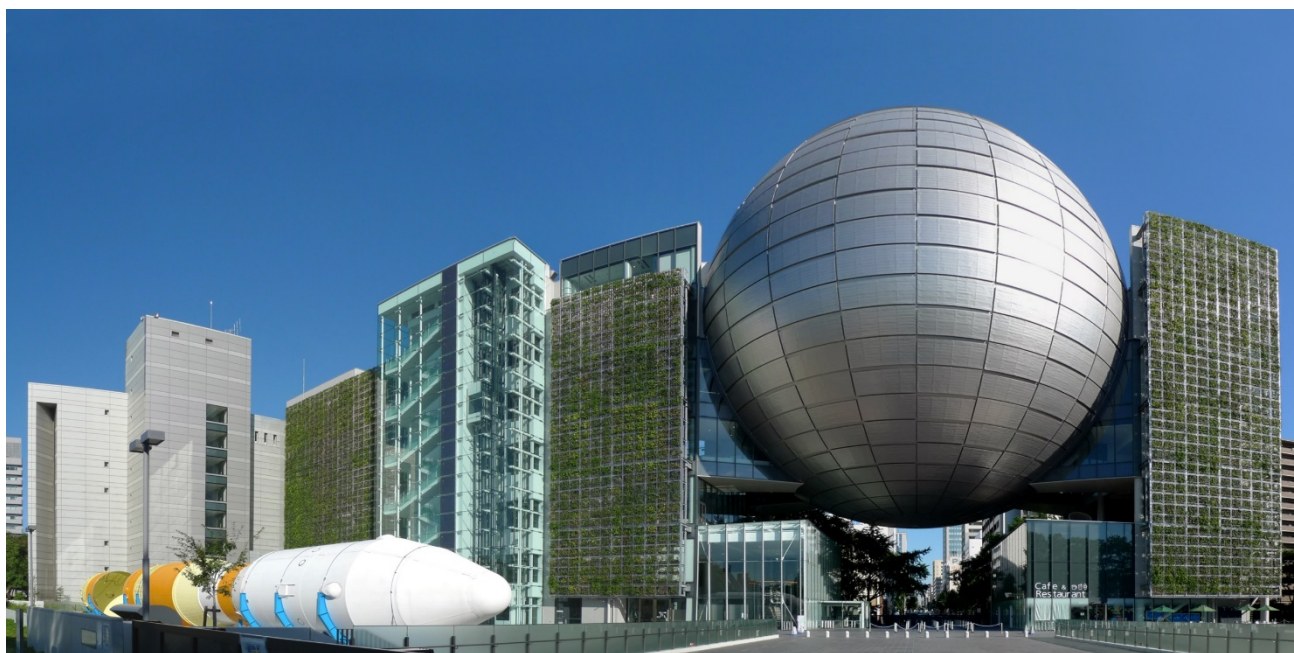

名古屋市科学館

要覧

平成 30 年度



は　じ　め　に

平成 29 年 8 月 23 日、名古屋市科学館は昭和 37 年 11 月の開館から 54 年間で、3,500 万人目のお客さまをお迎えすることができました。多くの皆様に親しまれておりますことを大変嬉しく思いますとともに、これまでご来館いただきました皆様に、心より御礼申し上げます。

さて、平成 29 年 7 月には、ロボカップ 2017 名古屋世界大会が開催されました。世界各地で毎年開催されておりますが、平成 9 年の第 1 回世界大会以来、20 年ぶりに名古屋市で開催されたものです。名古屋市科学館では、この世界大会の時期に合わせて、特別展「ロボットってなんだろう？」を開催しており、より多くの方にロボットを通して科学に関する好奇心や探究心を高めていただいたのではないかと考えております。また、この特別展にロボカップジュニアの参加者を招待することで、世界から集まった子どもたちが日本のロボット技術に触れる機会を提供することができました。子どもたちの科学技術への関心を高める一助となれば幸いです。

また、愛知・名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者の業績などを分かりやすく伝える、ノーベル賞受賞者顕彰施設の整備に向けた調査を愛知県と共同で実施しました。施設の整備により、次代の科学技術を担う人材の裾野拡大に向けた普及啓発を行うとともに、科学技術の先進地としての魅力発信や国内外の観光客誘致、地域の誇りの醸成につなげたいと考えております。

今後も「みて、ふれて、たしかめて」をコンセプトに、世界最大のプラネタリウム「Brother Earth (ブラザーアース)」や、自然のダイナミズムを体感できる 4 つの大型展示をはじめとした多くの体験型の展示品を通して、楽しみながら科学に触れることのできる施設として、多くの皆様に愛される魅力的な施設であり続けられるよう努めてまいりますので、引き続き当館の運営に格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 30 年 8 月

名古屋市科学館
館長 瀬瀬 満

科学館の基本理念

- 1 科学の原理と応用を理解し、そのおもしろさ、楽しさを知っていただく。
- 2 人間と科学技術との関わりを考えていただく。
- 3 社会的に関心の大きい問題について科学技術的な理解をはかる。
- 4 市民に科学を通じた生涯学習の場を提供する。

名古屋市科学館では、この基本理念にもとづき、展示、教育普及の諸活動を行うとともに、学校教育との連携、市民科学活動の推進をはかっています。

科学館マスコットキャラクター



「愛称＝アサラ」

アストロ (ASTRO) 宇宙

サイエンス(SCIENCE) 科学

ライフ (LIFE) 生命

の頭文字を取って付けた愛称です。

* 制作意図

形にとらわれない自由な発想によるキャラクター。

見る人の自由な発想によって、宇宙に存在するであろう未知の生物であったり、原子やエネルギーに見えたり、また、生命の源やアメーバであったりする。

青少年の科学に対する興味や関心をやさしく高めるよう、楽しくかわいいマスコットキャラクターとした。

制作者:鈴木 勝さん

科学館シンボルマーク



* イメージ

無限に広がる宇宙の片隅に存在する
青い惑星－地球

そこには、生命・物質・エネルギー
さまざまなものが自然のうちに調和し
ている。

人間は英知(科学とその技術)を持った
生命として、この地球に生まれてきた。

人間は、自然のバランスをそこなわ
ず、英知をもって幸福に暮らしてい
かなければならない。

制作者:竹中 香奈子さん

目

はじめに

科学館の基本理念

施設の概要

- 1 沿革…………… 1
- 2 組織…………… 3
 - (1) 組織及び職員構成…………… 3
 - (2) 諮問機関…………… 4
- 3 施設概要…………… 5
 - (1) 各館の概要…………… 5
 - (2) 建築概要…………… 6
 - (3) ネーミングライツの導入…………… 6
 - (4) 施設・設備概要…………… 6

平成 29 年度事業の概要

- 1 展示事業…………… 8
 - (1) 常設展示…………… 8
 - (2) 大型展示…………… 8
 - (3) 各種実演・ショー…………… 9
 - (4) スペシャル実演…………… 10
 - (5) 話題の科学…………… 11
 - (6) Multilingual Audio Guide…………… 11
- 2 特別展及び企画展…………… 12
 - (1) 特別展「恐竜の大移動」…………… 12
 - (2) 特別展「ロボットってなんだろう？」…………… 12
 - (3) 企画展「さわってビックリ！見て
フシギ？ 人間の皮膚」…………… 13
 - (4) 特別展「恐竜の卵」…………… 14
 - (5) 特別展「マーベル展」…………… 15
- 3 プラネタリウム投影…………… 16
 - (1) 一般投影…………… 16
 - (2) ファミリーアワー…………… 16
 - (3) 学習・幼児投影（学校等団体向け）…………… 16
 - (4) 特別投影…………… 17
- 4 教育普及事業…………… 18
 - (1) 天文分野…………… 18
 - (2) 理工分野…………… 19
 - (3) 生命環境分野…………… 21
 - (4) その他イベント…………… 23
 - (5) 出前ミュージアム(その道の達人
派遣事業)及び館外事業…………… 25

次

- (6) ボランティアの養成及び活用…………… 27
- (7) 科学館友の会…………… 30
- (8) 名古屋少年少女発明クラブ…………… 31
- (9) コンクール事業…………… 34
- (10) 博物館実習生の受入れ…………… 34
- (11) 職場体験・職場訪問など…………… 35
- 5 調査研究…………… 36
- 6 印刷物の発行…………… 37
- 7 広報活動…………… 37
- 8 他施設との交流…………… 38
 - (1) 国内活動…………… 38
 - (2) 国際活動…………… 38
 - (3) 研修生受入れ…………… 38
 - (4) 視察受入れ…………… 38
 - (5) 芸術と科学の杜…………… 38
 - (6) 研究機関等との相互協定等…………… 39
- 9 高校生学力向上促進事業…………… 40
 - (1) 燃料電池自動車プロジェクト…………… 40
 - (2) 高校生による科学の祭典 2017…………… 40
- 10 その他…………… 40
- 11 研修・講座等…………… 41
- 12 情報収集保存活動…………… 44
 - (1) 情報資料室…………… 44
 - (2) インターネット…………… 44
- 13 平成 29 年度入館者状況…………… 45
 - (1) 月別利用状況(個人・団体別)…………… 45
 - (2) 入館者月別利用状況(利用種別)…………… 45
 - (3) 団体地域別入館者数…………… 46

参考資料

- 1 年度別入館者数…………… 47
- 2 常設展示品…………… 49
- 3 年度別決算…………… 54
- 4 展示協力…………… 57
- 5 特別展及び企画展…………… 60
- 6 観覧料の変遷…………… 64
- 利用案内…………… 66
- 名古屋市科学館条例…………… 67
- 名古屋市科学館条例施行規則…………… 70

施 設 の 概 要

1 沿 革

名古屋市科学館は市制施行 70 周年記念事業の一環として、昭和 37 年 11 月に天文館が建設され、その後、昭和 39 年 11 月に理工館が、平成元年 4 月に生命館が開館し、総合科学館として平成 24 年 11 月 3 日に開館 50 周年を迎えた。平成 23 年 3 月には、老朽化していた天文館・理工館を改築し、世界最大のプラネタリウムと 4 つの大型展示を備えた新たな施設として開館し、11 月には屋外展示及び外構工事の完了をもって、新館整備に係る全ての工事が終了しグランドオープンした。

昭和 33. 9. 25	科学館建設調査委員会初会合	11. 5. 7	秋篠宮文仁親王殿下特別展ご視察
35. 12. 16	第 1 期工事(天文館)建設着工	12. 3. 14~16	アジア太平洋地域科学館協会総会等開催
36. 1. 11	起工式挙行政	12. 11. 11	入館者 2,000 万人達成
36. 11. 1	科学館開設準備室設置	14. 4. 1	発明発見創造クラブ設立(~19. 3. 31)
37. 8. 10	市立名古屋科学館条例公布・施行	14. 10. 25	文部科学省科学系博物館教育機能活用推進事業受託
37. 10. 31	第 1 期工事(天文館)完工	15. 3. 27	フランス国立「パリ発見の宮殿」と交流計画に関する合意書調印
37. 11. 1	開館式挙行政	16. 12. 23~25	ロボットサッカー国際交流会開催
37. 11. 3	天文館一般公開	17. 3. 2	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
38. 6. 29	第 2 期工事(理工館)建設着工	17. 7. 25~29	万博ロボットサッカー国際交流会開催
39. 10. 30	第 2 期工事(理工館)完工	18. 1. 25	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
39. 11. 1	理工館一般公開	19. 2. 7	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
40. 9. 29	上原科学技術庁長官視察	20. 10. 1	理工館・天文館改築工事着工
42. 4. 1	博物館相当施設に指定	21. 5. 16	入館者 2,500 万人達成
47. 4. 1	総務局から市民局へ移管	22. 9. 1~	理工館・天文館改築に伴う休館
47. 11. 1	開館 10 周年記念式典挙行政	22. 10. 11~31	生物多様性条約第 10 回締約国会議開催に伴い生命館を開館
50. 10. 11	アメリカ合衆国カリフォルニア科学産業博物館と姉妹博物館提携	23. 3. 19	理工館・天文館一般公開
53. 8. 20~24	国際プラネタリウム館長会議(IPDC)開催	23. 4. 1	国立極地研究所との相互協力に関する協定を結ぶ
55. 4. 1	市民局から教育委員会へ移管	23. 10. 4	新館入館者 100 万人達成
56. 11. 21	西館建設調査委員会初会合	23. 11. 6	新館グランドオープン記念式典挙行政
57. 11. 1	開館 20 周年記念事業開催	23. 12. 12	世界最大のプラネタリウム「Brother Earth」がギネス世界記録に認定
60. 1. 20	入館者 1,000 万人達成	24. 3. 19	名古屋大学理学部との相互協力に関する協定を結ぶ
60. 3. 20	65 cm 反射望遠鏡設置	24. 5. 1	名古屋大学情報文化学部との相互協力に関する協定を結ぶ
61. 9. 3	生命館建設着工	24. 7. 16	新館入館者 200 万人達成
63. 11. 30	生命館完工	24. 7. 18	(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)と相互協力に関する協定を結ぶ
63. 12. 2	シンボルマーク及びキャラクター(アサラ)決定	24. 8. 10	「芸術と科学の杜」シンボルマーク決定
平成元. 4. 28	生命館開館記念式典挙行政	24. 11. 3	名古屋市科学館開館 50 周年記念式典挙行政
元. 4. 29	「市立名古屋科学館」を「名古屋市科学館」に名称変更	25. 3. 26	名古屋大学博物館と相互協力に関する協定を結ぶ
	生命館一般公開	25. 4. 1	名誉館長に益川敏英氏(ノーベル物理学賞)就任
元. 6. 14	三笠宮崇仁殿下ご視察	25. 9. 29	中京大学人工知能高等研究所と相互協力に関する協定を結ぶ
元. 7. 25	高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察	26. 1. 19	入館者 3,000 万人達成
	博物館登録	26. 8. 27	新館入館者 500 万人達成
2. 1. 22	博物館登録	28. 3. 29	名古屋市立大学との連携協力に関する覚書を結ぶ
3. 4. 7	皇太子徳仁親王殿下ご視察	29. 8. 23	入館者 3,500 万人達成
4. 11. 1	開館 30 周年記念式典挙行政		
5. 7. 24	入館者 1,500 万人達成		
6. 3. 24	受変電設備火災事故発生 翌日(3. 25)から休館		
6. 7. 1	火災事故復旧工事完了・開館		
9. 7. 29	文部省科学系博物館活用ネットワーク推進事業受託		
9. 8. 2	高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察		
10. 10. 22	科学技術振興事業団・科学館整備モデル事業受託		

歴代館長

(敬称略)

館長名		期間
初代	清水 勤二	昭和 37 年 8 月 10 日～ 昭和 39 年 5 月 31 日
第 2 代	杉戸 清	昭和 39 年 6 月 1 日～ 昭和 40 年 6 月 15 日
第 3 代	久垣 中陽	昭和 40 年 6 月 16 日～ 昭和 46 年 4 月 30 日
第 4 代	今城 栄次郎(助役・事務取扱)	昭和 46 年 5 月 1 日～ 昭和 47 年 1 月 9 日
第 5 代	佐藤 知雄	昭和 47 年 1 月 10 日～ 昭和 61 年 3 月 31 日
第 6 代	岡田 博	昭和 61 年 4 月 1 日～ 平成 4 年 12 月 31 日
第 7 代	樋口 敬二	平成 5 年 1 月 1 日～ 平成 17 年 3 月 31 日
第 8 代	岡田 大(教育長・事務取扱)	平成 17 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 3 月 31 日
第 9 代	柳田 博明	平成 18 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 11 月 20 日
第 10 代	岡田 大(教育長・事務取扱)	平成 18 年 12 月 1 日～ 平成 19 年 3 月 31 日
第 11 代	石丸 典生	平成 19 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 3 月 31 日
第 12 代	瀨瀬 満	平成 26 年 4 月 1 日～

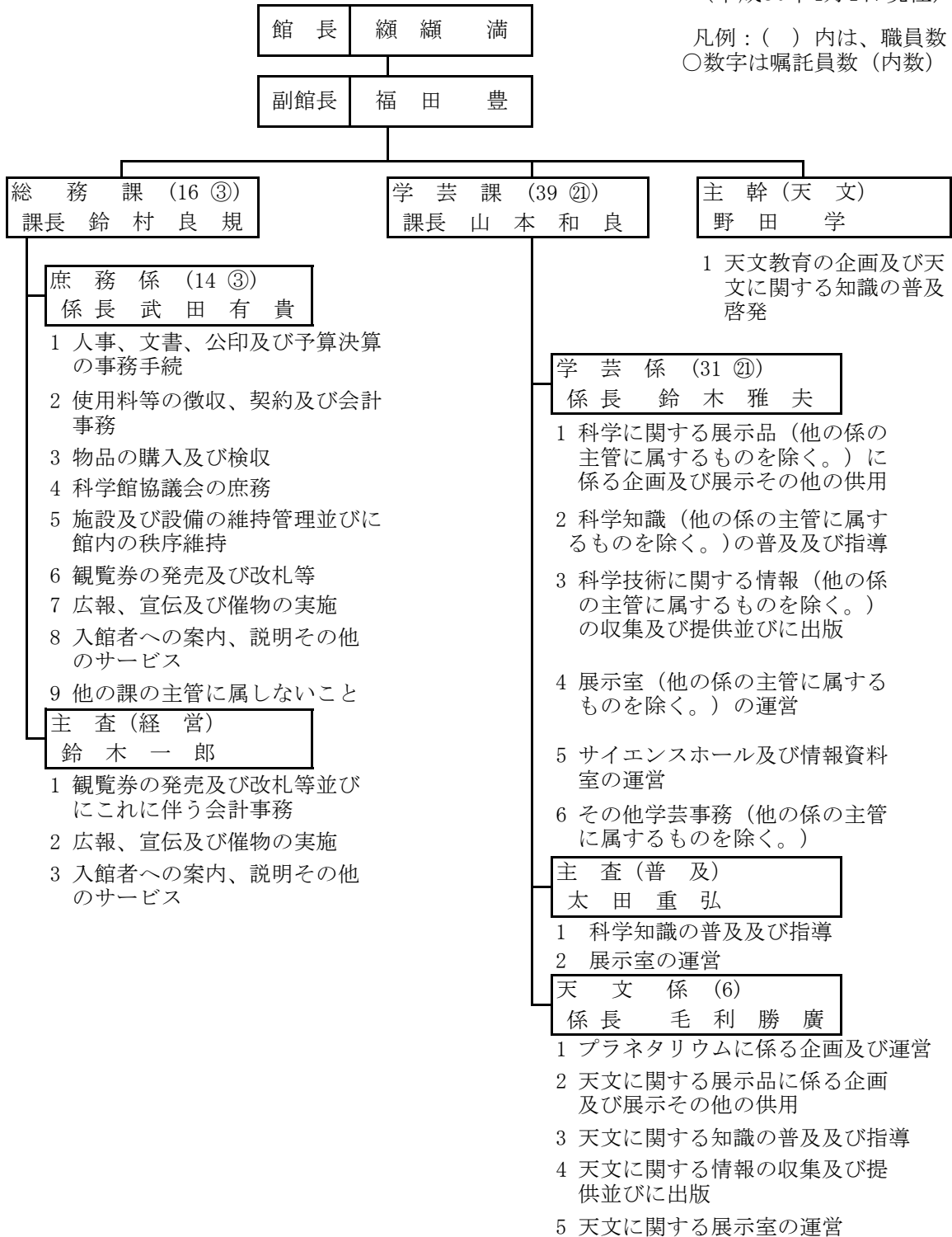
名誉館長	益川 敏英	平成 25 年 4 月 1 日～
アドバイザー	石丸 典生	平成 26 年 9 月 1 日～

2 組織

(1) 組織及び職員構成

(平成30年4月1日現在)

凡例：() 内は、職員数
○数字は嘱託員数 (内数)



〔職種別職員構成〕

職名	職種	行政職 (事務)	行政職 (技術)	社会教育 主事	学芸職	非常勤 特別職	嘱託員	計
館長						1		1
副館長		1						1
主幹					1			1
総務課		11	2				3	16
学芸課		2		2	14		21	39
計		14	2	2	15	1	24	58

(2) 諮問機関

① 名古屋市科学館協議会

博物館法及び名古屋市科学館条例に基づいて設置されており、科学館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し意見を述べる機関とされている。

科学館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命しており、条例により、定数は15人以内で、任期は2年とされている。

(敬称略)

氏名	役職名	氏名	役職名
寺崎由希子	名古屋市立砂田橋小学校長	直江知樹	(独)国立病院機構 名古屋医療センター院長
大塚とよみ	愛知県立千種豊学校長	束村博子	名古屋大学大学院 生命農学研究科教授
長谷川信孝	愛知県私学協会副会長	横山清子	名古屋市立大学大学院 芸術工学研究科教授
青山淑子	名古屋市地域女性団体 連絡協議会理事	内藤弘康	名古屋商工会議所副会頭
中山のり子	名古屋市立小中学校 PTA協議会理事	加藤宏幸	(株)中日新聞社名古屋本社 事業局長
伊藤洋介	(公募)	島田敏男	日本放送協会名古屋放送局長
		武藤陽一	(公財)中部科学技術センター 専務理事

[平成30年7月21日現在]

② 名古屋市科学館企画調査委員

科学に関する資料及び装置(科学館資料)に関し、調査研究を行い、もって科学館の充実を図るため、設置されており、委員は、館長の依頼を受け、科学館資料の収集及び展示の調査研究並びにその他科学館資料の専門的事項の調査研究に関することを処理するとされている。

委員は、教育委員会が選任している。

(敬称略)

氏名	役職名	氏名	役職名
水谷法美	名古屋大学大学院 工学研究科教授	金田英宏	名古屋大学大学院 理学研究科教授
長谷川明生	中京大学工学部 情報工学科教授	吉田英一	名古屋大学博物館 資料基盤研究系教授
伊藤清治	名古屋市工業研究所 材料技術部部長	森健策	名古屋大学大学院 情報科学研究科教授
天野浩	名古屋大学未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター長	清水裕彦	名古屋大学大学院 理学研究科教授
成瀬清	基礎生物学研究所特任教授	浅野みどり	名古屋大学大学院 医学系研究科教授
北原政子	おんたけ休暇村天文館館長	赤津裕康	名古屋市立大学大学院 医学研究科教授
寺田光宏	岐阜聖徳学園大学 教育学部教授	遠藤守	名古屋大学大学院 情報科学研究科准教授

[平成30年8月30日現在]

3 施設概要

当館は昭和 37 年に「天文館」、昭和 39 年に「理工館」、平成元年に「生命館」を開館した。天文館と理工館は平成 22 年 8 月をもって閉館し、改築整備を進めてきた新館を含めた新たな施設となった。改築後の科学館も従来と同じ天文館、理工館、生命館という 3 館で構成している。

(1) 各館の概要

<理工館>

エントランスがあり、観覧者が最初に入館する施設。

2 階から 6 階までが常設展示室、地下に特別展・企画展等を開催するイベントホール、7 階に天文台、3 階と 7 階に休憩室がある。

常設展示室には、子どもたちの科学的な気づきを促す展示から、最先端科学を扱った展示があり、分野も科学技術全般に渡り幅広く取り扱っている。

通常の展示品のほか、2 階層の吹き抜けを用いた大型展示品も整備した。

<天文館>

主に球体の施設部分であり、4 階から 6 階までのフロアで構成されている。

4 階は実演を行うサイエンスステージ、5 階は常設展示室、6 階にプラネタリウムがある。

プラネタリウムでは、幼児を含む幅広い年齢層を対象に、単に憧れとしての星空を眺めるだけではなく、天文知識や現象を正確に伝え、さらに、本当の星空にまで興味が広がるような番組構成・解説を行っている。

<生命館>

2 階から 5 階までが常設展示室、6 階に講座を開催する実験室や学習室、1 階に休憩室、地下にサイエンスホールがある。

常設展示室では、生命とは何かをあらゆる角度から総合的に解明しようとする生命科学をテーマに、「生命」「人体」「生活」及び「地球」のグループを設定し、この地球という惑星の上で、人類が豊かで健康な暮らしをするための問いかけをしている。

(2) 建築概要

区分	各棟別		
	理工館・天文館	生命館	
敷地面積	13,661.95 m ²		
建築面積	4,263.62 m ²	3,063.80 m ²	1,199.82 m ²
延床面積	22,551.32 m ²	15,735.19 m ²	6,816.13 m ²
構造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋	地上 7階	地上 9階
	コンクリート造	地下 2階	地下 2階
常設展示室	10室 6,515 m ²	6室 4,338 m ²	4室 2,177 m ²
開館日		H23.3.19	H元.4.29

(3) ネーミングライツの導入

対象施設：プラネタリウムドーム

愛称：Brother Earth (ブラザーアース)

権利内容：施設命名権、施設サイン掲出権等

ネーミングライツ・パートナー：ブラザー工業株式会社

契約期間：平成28年4月1日から平成33年3月31日

(4) 施設・設備概要

天文館	理工館	生命館	東館
プラネタリウム「 ブラザーアース Brother Earth」 【830 m ² (350席)】	天文台 【87 m ² 】	第2実験室 【120 m ² (36席)】	
プラネタリウム 制作室	7階休憩室 【187 m ² (96席)】	学習室 【102 m ² (54席)】	
サイエンスステージ 【173 m ² (66席)】	第1実験室 【115 m ² (48席)】	ボランティア 控室	
	3階休憩室 【251 m ² (84席)】		レストラン 【157 m ² (65席)】
	情報資料室 【97 m ² 】	1階休憩室 【385 m ² (170席)】	ミュージアム ショップ 【104 m ² 】
	イベントホール 【777 m ² 】	サイエンスホール 【440 m ² (320席)】	

□ 35m プラネタリウムドーム「ブラザー アース」

統合システム（全システムを統合・生解説用コンソール）

光学式プラネタリウム（ユニバーサリウム IX 型（名古屋市特別仕様））

デジタル式プラネタリウム（スカイマックス DS II-R2 SH-4K 6 台）

デジタルパノラマ（メディアグローブパノラマ SIM7Q 16 台）

補助投影システム（X700R 5 台）

音響システム（D-SICS）

補聴システム（赤外線、及び磁気ループ）

効果照明システム（スカイペイント）

通路 LED

レーザーシステム（アウロラ）

座席（350 席、全席リクライニング、左右 30° 回転）

□ プラネタリウム制作室（5m ドーム）

制作システム（SCD5）

□ 天文台

80cm カセグレン式反射望遠鏡

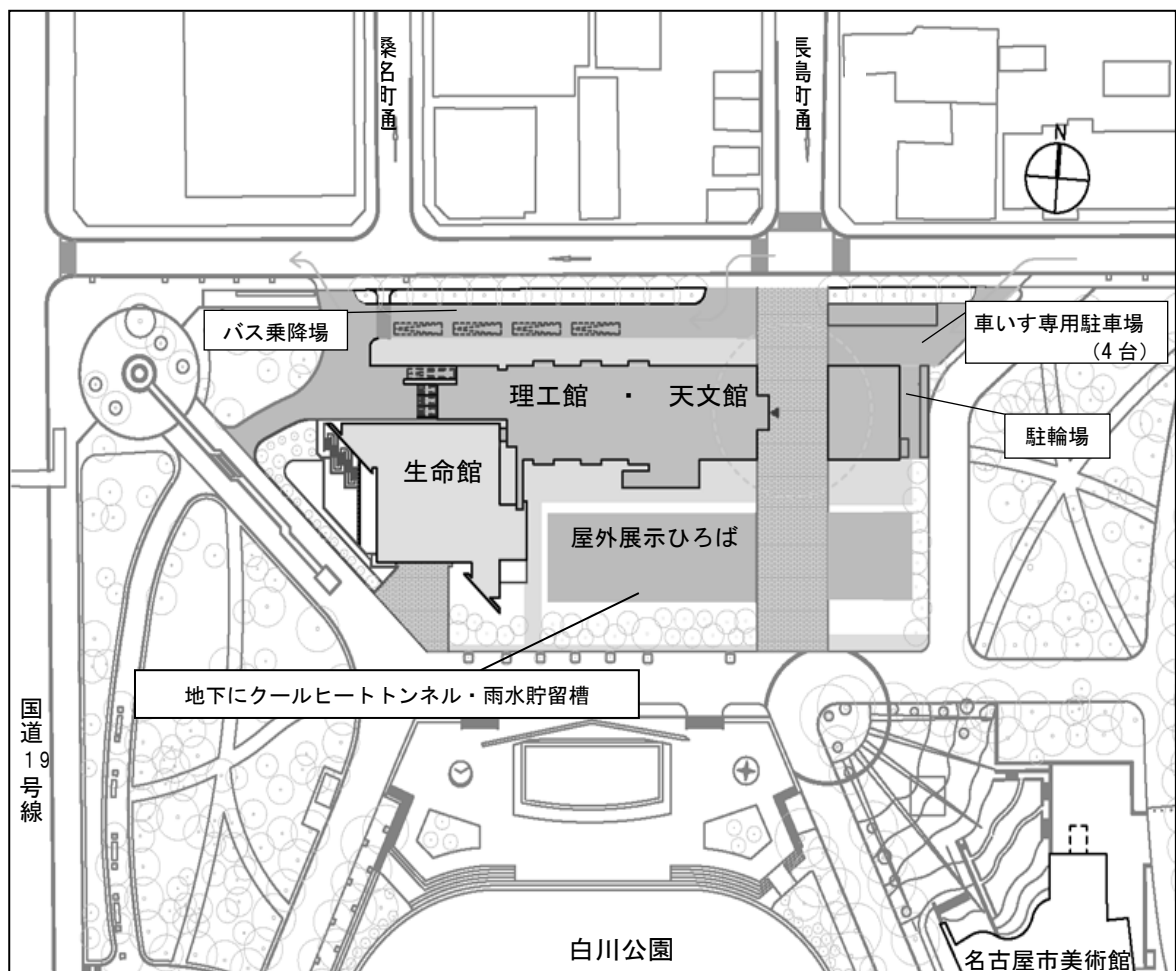
（周辺機器：20cm 屈折望遠鏡、デュアルワンダーアイ、スターイメージレイヤー他）

□ 星のひろば

15cm ケプラー式屈折望遠鏡 6 台、レーザーシステム一式

□ 30cm 太陽望遠鏡（太陽投影像 194cm）

（周辺機器：10cm 白色像用屈折望遠鏡、10cmH α 像用屈折望遠鏡、分光器他）



平成 29 年度事業の概要

1 展示事業

(1) 常設展示

科学との出会いから、身近なくらしへ、そして宇宙や地球内部へと、科学に対する興味を広げていくようにテーマを設定している。

館	展 示 室 名	展 示 内 容
天文	5階 宇宙のすがた	広大な宇宙のスケールを実感するとともに、宇宙の姿とその不思議を紹介
理工	2階 不思議のひろば	「みる・きく・さわる・うごかす」といった体験を通して、科学の不思議さや楽しさとの出会いの場を演出する
	3階 技術のひろがり	身のまわりにある機械の仕組みや、ものづくりの知恵を科学の視点で紹介
	4階 科学原理とのふれあい	波動、電磁気、運動など自然界の原理や法則について紹介
	5階 物質・エネルギーのせかい	暮らしを支える材料、エネルギーや、物質を構成する原子・分子について様々な視点で紹介
	6階 最先端科学とのであい	地球環境を理解するため、宇宙と地下に挑む科学のフロンティアを紹介
生命	2階 地球のすがた	地球上で見られる現象や地球環境の歴史などについて紹介
	3階 生活のわざ	豊かな暮らしを送るための人間の「衣」、「食」、「住」とさまざまな生物とのかかわりを展示
	4階 人体のふしぎ	自分自身の「からだ」のふしぎさ・大切さについて学ぶ展示
	5階 生命のひみつ	地球上の生物に共通する生命のしくみと、多様性の謎に迫ろうとする展示
	屋 外	風力発電装置、海底無人探査機、フランス水車蒸気機関車、市電、H-II B ロケット、きぼう

(2) 大型展示

館	大型展示	展 示 内 容
理工	2～3階 水のひろば	「雲、雨、川、海」による水の循環の表現や音と光を連携させた演出を観察するとともに、水を使った様々な実験をする。
	3～4階 竜巻ラボ	3本の柱からの横方向の風で回転流をつくり、上方より空気を吸い上げることで発生した巨大な竜巻を観察し、自然界のエネルギーを体感する。
	4～5階 放電ラボ	2基の大型テスラコイルから向かってくる放電により、ダイナミックな電気エネルギーを体感する。
	5階 極寒ラボ	マイナス 30℃の極低温空間で起こる現象を観察し、極地を疑似体験する。

(3) 各種実演・ショー

実演場所	名 称	実演・実験内容	平成 28 年度		平成 29 年度	
			回数 (回)	参加者数 (人)	回数 (回)	参加者数 (人)
理工館	2階	水のひろば	水の循環と水の性質について知識を深める演出		来館者対象	
	3階	モノづくり 都市パノラマ	1,006	34,015	1,007	30,555
		竜巻ラボ	1,006	80,850	1,007	75,460
	4階	放電ラボ	1,716	89,916	1,718	89,507
	5階	極寒ラボ	3,373	72,287	3,374	69,679
天文館	4階	サイエンスステージ	1,125	78,159	1,126	75,569
生命館	5階	生命ラボ	411	6,135	401	5,676

(4) スペシャル実演

実演場所	事業名	開催期日	回数(回)	参加者数(人)
生命館 5 階 生命ラボ	のぞいてみよう！ミクロの世界	毎土日 各日 2 回	92	1,592
	生きものかんさつタイム			
	～プラナリア	4/ 1～ 4/30 の平日	14	519
	～ゾウリムシ	5/ 1～ 5/31 の平日	12	465
	～ミドリムシ	6/ 1～ 6/30 の平日	17	673
	～ボルボックス	7/ 1～ 7/20 の平日	9	325
	～スペシャル	7/21～ 8/31 の平日	20	2,526
	～ミジンコ	9/ 1～ 9/30 の平日	13	767
	～プラナリア	10/ 1～10/31 の平日	15	1,361
	～動植物プランクトン	11/ 1～12/28 の平日	30	2,188
	～ヘイケボタル	1/ 4～ 1/31 の平日	14	1,265
	～発光バクテリア	2/ 1～ 2/28 の平日	14	905
	～ボルボックス	3/ 1～ 3/31 の平日	16	980
	国際植物の日記念行事 「もっと知ろう、植物の秘密」 協力：理化学研究所	5/20・21	2	265
	生命ラボスペシャル 触覚ラボ 「ミライ探検 さわりごこちのサイ エンス」	7/8	3	49
	スマホ顕微鏡ワークショップ	8/11・8/12	10	216
	健康福祉局 中央卸売市場食品衛生 検査所によるワークショップ ～「あなたの手の菌「見える化」しま すよ！～手洗いで上手なお付き合い	8/16・8/23	4	772
	チリメンモンスターを探そう	2/10・2/11	6	176

(5) 話題の科学 (理工館 6 階 コーナー)

コーナー	テーマ	展示時期
右	祝 ノーベル生理学・医学賞受賞&イベルメクチン	28年 2月～
	大西卓哉宇宙飛行士 ISS 長期滞在	28年 7月～
	新元素発見 113番元素 「ニホニウム Nh」	28年 11月～
	金井宣茂宇宙飛行士	29年 12月～
左	祝 ノーベル物理学賞受賞&ニュートリノ振動	28年 2月～
	号外 ノーベル生理学・医学賞 オートファジー	28年 10月～
	祝 大隅良典博士 2016 ノーベル生理学・医学賞受賞	29年 3月～
	アメリカ横断日食 2017年8月22日 (日本時間)	29年 9月～
	(3.11を忘れない) 巨大地震の発生現場を探る [再公開]	30年 2月～

(6) Multilingual Audio Guide (外国語音声案内サービス)

ネーミングライツパートナーであるブラザー工業株式会社の提供により、平成26年11月5日(水)から運用開始。

○サービス概要

- ・来館者自身のスマートフォンを利用した、外国語音声案内サービス。
- ・スマートフォンに専用の無料アプリケーションをインストールすることにより、対象の展示品に近づくだけで音声案内が自動再生される。
- ・科学館エントランスホールに専用アプリケーションダウンロード用の無料 Wi-Fi スポットを設置。

○対応言語

- ・英語

○対応展示

- ・理工館3階から5階の展示29点

2 特別展及び企画展

(1) 特別展「恐竜の大移動～ティラノサウルス類と角竜の起源と進化～」

- ①開催趣旨 北アメリカは恐竜研究の中心地であり、そこから産出する最大級の肉食恐竜ティラノサウルスや角竜トリケラトプスは非常に人気が高い恐竜である。そしてその祖先はアジアに起源があり、北アメリカに渡って繁栄したといわれている。本展では、アジアで出現した小型のティラノサウルスやトリケラトプスの祖先が、やがて北アメリカに渡り大型化する進化の道筋を、当時の大陸移動と関連付けて紹介した。
- ②開催期間 3月18日(土)～5月28日(日) 開催日数 60日
- ③入場者 99,220人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館、読売新聞社、中京テレビ放送
- ⑥後援 駐日中国大使館
- ⑦協賛 野田塾
- ⑧特別協力 福井県立恐竜博物館
- ⑨協力 ニューメキシコ自然史科学博物館、浙江自然博物館、諸城恐竜博物館、中国科学院、古脊椎動物古人類研究所、天草市立御所浦白亜紀資料館、長崎市教育委員会
- ⑩入場料 大人 1,400円 [前売券 1,100円]
高校生・大学生 800円 [前売券 500円]
小中学生 500円 [前売券 200円]
- ⑪展示内容 レドンダサウルス(全身復元骨格)・ティラノサウルス(全身復元骨格)・プシッタコサウルス(実物化石)・トリケラトプス(全身復元骨格)・トリケラトプスの祖先の頭骨(レプリカ10種類)・ビスタヒエヴェルソル(頭骨レプリカおよび実物大ロボット)など

⑫関連事業

内容	協力・講師	実施日	参加者数
絵本作家・宮西達也さんと恐竜の世界	絵本作家・宮西達也	4月1日(土) 2日(日)	約500人
化石レプリカ作り体験	天草市立御所浦白亜紀資料館学芸員 廣瀬 浩司	4月15日(土) 16日(日)	96人
コハクを磨いて昆虫化石を探そう!	東海化石研究会	4月23日(日)	118人

(2) 特別展「ロボットってなんだろう？」

- ①開催趣旨 日本が世界に誇る「ものづくり」、とりわけ大量生産には、産業用ロボットが欠かせなくなっている。また、医療界で活躍する実験ロボット、災害現場で活躍するレスキューロボット、人類に限りなく迫る人型ロボット、「見えないロボット」とも言われる人工知能など、様々なロボットが日本社会の根底を支えている。また家庭にもロボットが入り込み、身近な存在になりつつある。

本展は、ロボットの原型ともいえるからくり人形から始まって、日々、進化を遂げるロボットの過去、現在、未来を紹介、ロボットとともに作り出している私たち

のまわりの産業や生活を改めて俯瞰するとともに、夢あふれる日本の未来像を探った。

- ②開催期間 7月15日(土)～9月3日(日) 開催日数45日
- ③入場者 76,156人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館、読売新聞社、メ〜テレ
- ⑥後援 ロボカップ2017名古屋大会開催委員会
- ⑦特別協賛 凸版印刷株式会社
- ⑧協賛 県民共済愛知県生活共同組合
- ⑨協力 愛知工業大学、株式会社サンライズ/株式会社創通、手塚プロダクション、高橋智隆/ディアゴスティーニ・ジャパン、早稲田大学 ヒューマノイド研究所、静岡大学応用ロボットシステム研究室(伊藤研究室)、株式会社 安川電機、株式会社 ケーイーアール、科学技術館、凸版印刷株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社 タカラトミー、株式会社デイジー、中央大学 中村研究室、株式会社エンルートラボ、株式会社三栄コーポレーションリミテッド、日本アキュレイ株式会社、名古屋工業大学 佐野研究室、株式会社今仙技術研究所、株式会社イノフィス、オムロン株式会社、株式会社デンソー
- ⑩入場料 大人 1,400円 [前売券 1,200円]
高校生・大学生 800円 [前売券 600円]
小中学生 500円 [前売券 300円]
- ⑪展示内容 ルービックキューブロボット、ピタット！トレースロボット、ロビ2、Pepper、TAIRA、Kirobo mini、生活支援ロボット HSR、サイバーナイフ、マッスルスーツ、受動歩行ロボット、無動力歩行支援機 ACSIVE、LAZY ARMS、デジタルいわし、電王手一二さんなど

⑫関連事業

内 容	協力・講師	実施日	参加者数
高橋智隆さん記念講演会	ロボットクリエイター高橋智隆	7月29日(土)	287人
将棋ロボット対局体験	将棋棋士杉本昌隆七段	8月25日(金)	入場者対象

(3) 企画展「さわってビックリ！見てフシギ？ 人間の皮膚」

- ①開催趣旨 毎日私たちとともにある、皮膚。それは外界と私たちの体との境界である。また、ヒトの触覚の感覚器でもある。本展では、皮膚のはたらき・しくみ、他の動物との比較をはじめとする皮膚に関連する科学をさまざまな体験とともに紹介した。自分の皮膚について調べ体験してその不思議さ・すばらしさを知ることを通して、人間という生き物のことを考えるきっかけとした。
- ②開催期間 9月16日(土)～9月24日(日) 開催日数8日
- ③入場者 10,938人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館
- ⑥協力 日本メナード化粧品株式会社 総合研究所、名古屋市東山動植物園、公益財団法人

日本モンキーセンター、名古屋大学博物館、国立感染症研究所、自由堂薬局、名古屋市生活衛生センター、科学技術振興機構 サイエンス チャンネル、名古屋工業大学大学院工学研究科 准教授/JST さきがけ研究者 田中由浩、名古屋工業大学大学院工学研究科 教授 佐野明人、非常勤研究員 松井彩、博士後期課程 Pham Quang Trung、藤田保健衛生大学 医学部 教授 臼田信光、東京医科大学 医学部 特任教授 福本学、奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 准教授 大竹義人、株式会社テック技販、慶應義塾大学環境情報学部 准教授/JST さきがけ研究者 仲谷正史、名古屋市立大学大学院芸術工学研究科 小鷹研究室 展示プロジェクトメンバー(佐藤優太郎、石原由貴、小鷹研理)

⑦入 場 料

常設展観覧料で観覧可能

⑧展示内容

1 ヒトの皮膚と動物の皮膚

学習用 DVD (皮膚にしみこむってホント?)、皮膚の細胞や組織等の顕微鏡写真、模式図、動画、皮膚を拡大して観察するスキンスコープ、紫外線で色が変わるプレート、動物の毛皮標本と個体や皮膚の写真、霊長類毛皮標本と剥製、写真、動画、手形・足型・尾紋等

2 さわった感じは皮膚から

サルの指切片や皮膚にある感覚小器官プレパラート 等

3 大切な皮膚を守るもの

教育標本ムラージュ、ウイルス電子顕微鏡写真、薬や手当に関する展示品、衛生害虫写真 等

4 自分の皮膚を調べよう-体験

触覚計測・伝達装置「ユビレコ」、振動知覚測定実験装置、触覚コンタクトレンズ、魚の骨の錯触、触覚及び身体感覚の錯覚 等

⑨関連事業

内 容	協力・講師	実施日	参加者数
クイズラリー 触覚・振動に関する常設 展示3つをまわるクイズ ラリーを実施		期間中の土日祝日	合計 258 人
「さわりごこちのサイエ ンストーク -触覚研究者 と見る皮膚の世界-」	名古屋工業大学大学院 工学研究科 准教授/JST さきがけ研究員 田中由 浩、非常勤研究員/サイエンスコミュ ニケーター 松井彩	9月23日(土) 午後1時、2時、3時から (各回約45分間)	80人 (3回合計)

(4) 特別展「恐竜の卵～恐竜誕生に秘められた謎～」

①開催趣旨

近年、恐竜の卵や巣の化石は中国大陸を中心に数多く見かり、様々な恐竜が独自の
方法で産卵、子育てをしていたことが分かってきた。

本展では、卵による恐竜の誕生をメインテーマに、多様な恐竜コレクションを
所蔵する中国の浙江省自然博物館からの恐竜の卵や巣の化石をはじめ、それらの
親や幼体の標本などの実物化石を一堂に展示した。さらに、恐竜の産卵の方法、営
巣のしかた、抱卵行動の進化、生まれたばかりの幼体といった、産卵から孵化まで
の過程などについて、最新研究を踏まえて紹介した。

②開催期間

11月11日(土)～2月25日(日) 開催日数 83日

- ③入 場 者 75,719 人
- ④会 場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主 催 名古屋市科学館、読売新聞社、中京テレビ放送、福井放送
- ⑥後 援 駐日中国大使館
- ⑦特別協力 浙江^{せつこう}自然博物館、福井県立恐竜博物館
- ⑧協 力 名古屋大学博物館、岐阜大学応用生物科学部、寄石博物館
- ⑨入 場 料 大人 1,400 円 [前売券 1,100 円]
高校生・大学生 800 円 [前売券 500 円]
小中学生 500 円 [前売券 200 円]
- ⑩展示内容 オヴィラプロトサウルス類・ハドロサウルス類・トロオドン (卵殻化石および全身復元骨格)、エウヘロプス (全身復元骨格)、マイアサウラ (実物大ロボット) など

⑪関連事業

内 容	協力・講師	実施日	参加者数
ギャラリートーク	学芸員、福井県立恐竜博物館研究員	11月11日(土) ～2月3日(土)	320人
恐竜の骨格復元	ボランティア T&T	12月3日(日) 1月7日(日) 2月11日(日)	116人
コハク磨き体験	東海化石研究会	1月27日(土)	71人

(5) 特別展「マーベル展—時代が創造したヒーローの世界—」

- ①開催趣旨 本展では、アベンジャーズやスパイダーマンなど数多くの魅力的なヒーローや作品を生み出し、多くの文化や人々に影響を与えてきた MARVEL の魅力を、日本初公開となる貴重な資料、衣裳や小道具など約 200 点を通して紹介した。また、名古屋展オリジナルとして、作品に登場するテクノロジーについて、現代の科学技術と関連付けた展示をした。
- ②開催期間 3月17日(土)～6月10日(日) 開催日数 72日
- ③入 場 者 132,820 人
- ④会 場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主 催 名古屋市科学館、中日新聞社、東海テレビ放送
- ⑥後 援 岐阜県教育委員会、愛知県私学協会、愛知県私立幼稚園連盟、名古屋青年会議所、近畿日本鉄道、JR東海
- ⑦特別協力 ウォルト・ディズニー・ジャパン
- ⑧協 力 ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
- ⑨制作協力 NHKプロモーション、NHKプラネット中部
- ⑩入 場 料 大人 1,200 円 [前売券 1,000 円]
高校生・大学生 700 円 [前売券 500 円]
小中学生 500 円 [前売券 300 円]
- ⑪展示内容 キャプテン・アメリカやソーなどの映画に使用された衣裳、マーベル・コミックの創刊号や原画、マーベル作品のイラスト、実物大アイアンマンフィギュア、プラズマ発生装置、オリンピックで使用された水着、性能実験をおこなった合金など

3 プラネタリウム投影

(1) 一般投影

一般を対象として今夜の夜空の星の探し方から幅広い天文のテーマを、月替わりでわかりやすく解説する。1回の投影時間は約50分。

月	テーマ	投影回数	月	テーマ	投影回数	
4	木星と衛星たち	108	10	夕焼けの科学	96	
5	となりの星へ	99	11	アンドロメダ銀河	94	
6	人工衛星 60 年	93	12	オーロラが見たい	92	
7	宇宙のひろがり	93	1	赤い満月	87	
8	アメリカ横断日食(～9/3)	105	2	重力波をつかまえた	85	
9	いるか座物語(9/9～)	81	3	古代人の宇宙(～4/10)	101	
【参考】平成28年度投影回数=1,183回					計	1,134

(2) ファミリーアワー

家族連れや、初めてプラネタリウムをご覧になる方などにオススメの、プラネタリウムの基本が体験できるプログラム。今晚の星空から宇宙旅行までの楽しい内容となっている。

- ◇ テーマ 4/1～太陽系アドベンチャー 7/15～はるかなる星の世界へ
12/16～ふたごの星の物語 3/17～太陽系アドベンチャー
- ◇ 投影時間 土曜(春・冬休み) 14:00～
日曜・祝日・夏休み 11:20～, 14:00～
平成29年度投影回数=249回
平成29年度観覧者数=84,259人

(3) 学習投影・幼児投影(学校等団体向け)

幼稚園児、保育園児、小学生及び中学生の団体向けの学習投影で、それぞれの学年等に応じた内容のプログラムを編成し、わかりやすく解説する。

事業名・対象	内容	期間	投影回数	観覧者数(人)
幼児向け投影 (幼稚園・保育園 の年長児)	星座や星の物語などを補助投影機を活用しながら構成し、幼児が楽しみながら星の学習ができるように解説する。	5/10～7/20 (38日間)	70	21,357 (558園)
		2/23～3/9 (9日間)	15	4,056 (83園)
小学校 4年生向け	「冬の星座と太陽・月・星の動き」 プラネタリウムで星座を探したり、太陽・月・星が時間とともに動いていくようすを眺め、楽しみながら天体に関心を持てるようなお話をする。	11/28～2/22 (35日間)	63	19,014 (260校)
小学校 6年生向け	「地球から宇宙へ」 太陽と月と地球の関係、太陽系のしくみ、そして広大な宇宙の姿にふれ、宇宙の中の人間について考える。	9/21～11/16 (31日間)	57	16,350 (235校)

【参考】 平成 28 年度

事業名	投影回数	観覧者数(人)
幼児向け投影	82	25,517 (602 園)
小学校 4年生向け	62	18,755 (261 校)
小学校 6年生向け	54	16,196 (231 校)

(4) 特別投影

テーマについてじっくり解説する大人むけの夜間の特別投影と、聴覚障害者の方も健常者とともに鑑賞できるようにライブで解説を字幕で投影する投影。

① 夜間投影

18 時 30 分からの大人むけプログラム。七夕やお月見など、その時々になんだ天文の話題を取り上げる場合と、同月の一般投影の内容を基本に映像演出や話題を加える場合がある。

開催期日	テーマ	参加者数(人)	開催期日	テーマ	参加者数(人)
5月12日	となりの星へ	256	9月23日	オーロラの夜	326
6月9日	宇宙からみた地球	244	10月4日	お月見の夜	235
6月10日		284	11月10日	アンドロメダ銀河	251
7月7日	七夕の夜	292	12月23日	クリスマス之夜	315
8月27日	旧暦七夕の夜	313	12月24日		267
9月22日	オーロラの夜	308	2月9日	重力波をつかまえた	197
計					3,288

【参考】 平成 28 年度参加人数=3,225 人

② 字幕付きプラネタリウム

プラネタリウム番組に字幕を付けて投影

- ◇ 対象 一般(聴覚障害者を含む)
- ◇ 開催期日 7/2, 11/25
- ◇ 参加者数 690 人 【参考】 平成 28 年度参加人数=690 人

4 教育普及事業

(1) 天文分野

(講師：敬称略)

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
昼間の星をみる会 天文台の望遠鏡で昼間にみえる星を観望	4月9日(日)～ 3月25日(日) (24回)	13,587		○	
市民観望会 プラネタリウムでの講座の後、天文台の口径80cm大望遠鏡や「星のひろば」に設置した望遠鏡で、観望条件のよい天体をご覧ください	4月29日(土)～ 3月10日(土) (12回)	2,281			
木星をみる会	4月29日(土)	214			
木星と月をみる会	5月6日(土)	179			
月とならぶ木星をみる会	6月3日(土)	218			
木星と土星をみる会	7月2日(日)	199		○	
土星をみる会	8月5日(土)	207			
土星と二重星をみる会	8月19日(土)	232			
土星と月をみる会	9月2日(土)	244			
月と二重星をみる会	10月28日(土)	138			
月をみる会	11月26日(日)	158			
月とアルデバランをみる会	1月27日(土)	135			
月とすばるをみる会	2月24日(土)	160			
オリオン星雲をみる会	3月10日(土)	197			
宇宙×子どもプロジェクト 学芸員による展示紹介、講演会「宇宙に関する仕事の話」、プラネタリウム観覧等 (小学生と保護者)	6月10日(土)	321	(公社)名古屋中法 人会		
第26回公開セミナー 天文学の最前線 「宇宙における爆発・衝突現象」 ① 講演会・座談会 ② 講演会・座談会・プラネタリウム ③ 体験型研究室紹介 (高校生以上)	8月28日(月)～ 30日(水)	255 (科学館)	名古屋大学大学院 理学研究科		○
おんたけ天文教室 木曾御岳の雄大な自然の中にある名古屋市民おんたけ休暇村で天体観測を行う	6月26日の地震 の影響で中止	-	(公財)名古屋市民 休暇村管理公社		
プラネタリウムと星空観察会 (星空継続観察) 星空の見え方を継続観察することで、星をみえにくくしている光害の実態とその推移を調査する (小学4年～中学3年生と保護者)	8月12日(土) 1月7日(日)	41 40	名古屋市環境局		
コズミックカレッジ2017名古屋会場 ディスカバリーチャンネルのハイクオリティな映像とJAXAのホンモノ実験教室、NHK「コズミックフロント」の高精細な映像、さらに名古屋市科学館の実物展示により宇宙への学びを深める (小学3～6年生と保護者)	11月5日(日) (2回実施)	462	ディスカバリーチ ャンネルコズミッ クカレッジ		

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
プラネタリウム特別連携事業 中京大学×プラネタリウム×アートピア 「The Edge of Infinity」 (高校生以上)	12月8日(金) 9日(土)	658	中京大学工学部メディア工学科・人工知能高等研究所(公財)名古屋市文化振興事業団		○
名古屋市宇宙産業人材育成セミナー「来たれ！宙女・宙男」 基調講演「宇宙産業界に男女共同参画の道を拓く～集まれ！宙女・宙男～」 講師：宇宙飛行士 山崎直子 パネルディスカッション プラネタリウム観覧	12月16日(土)	272	名古屋市市民経済局		
第16回坂田・早川記念レクチャー 「太陽系を満たすプラズマコロナから星間空間の入口まで」 講師：JAXA 宇宙科学研究所名誉教授 西田篤弘 (高校生以上)	12月23日(祝)	277	名古屋大学大学院理学研究科		○

(2) 理工分野

(講師：敬称略)

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
楽しい鉄道模型 ボランティアが持ち寄ったいろいろな列車模型の走行	6月18日(日) 10月1日(日)	来館者	名古屋鉄道模型クラブ		
2017 愛知教育大学・名古屋市科学館連携講座 夢・科学-21 中学生のための化学実験講座 「科学的な考え方を学び楽しむ化学(科学)実験教室」 食品作りには化学が大活躍！ ～化学で皮むき夏ミカンを作ろう！～ 講師：愛知教育大学教授 戸谷義明、 学生、学外協力講師 (中学生)	7月8日(土)	21	愛知教育大学		
電子工作教室(ジュニアコース) 「フルカラーLEDで色をまなぼう」 (小学5・6年生)	7月21日(金)	27		○	
電子工作教室(親子コース) 「オルゴールごまをつくろう」 (小学3・4年生と保護者)	7月22日(土) 23日(日)	52 (26組)		○	
放射線ウォッチング 測定キットの組み立てと測定・実験 (教員・高校生)	7月25日(火) ～28日(金)	96	中部原子力懇談会		

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
～ワクワク実験隊～「鉄の不思議教室」 放電実験や電磁石の実験、手作りカイロなど、鉄のおもしろい実験の体験 (小学校4～6年)	8月3日(木) (2回実施)	69	(一社)日本鉄鋼連盟		
20周年記念リフレッシュ理科教室 A.「こどもパソコン“IchigoJam”でプログラミング！」 B.「スペクトルのふしぎ のぞくと何が見えるかな？」 C.「クルクル回る！超簡単モーターを電池と磁石で作ろう」 ① 先生のための実験工作教室 (小中学校の教員) ② こどものための講演会と実験工作教室 講演会：「水の不思議と地球」 講師：名古屋市科学館長 瀬瀬満 (小学3年～中学生)	8月4日(金) 5日(土)	73 (内訳) 19 54	(公社)応用物理学会		
夏休み親子写真教室 「ピンホールカメラを作り、撮影・現像しよう」 空き箱に小さな穴をあけてピンホールカメラを作り、白黒写真で撮影、現像、プリントをする (小学生と保護者)	8月26日(土) 27日(日) (4回実施)	64組 128 小人 64 大人 64	(公社)日本写真協会		
名古屋市科学館・中京大学連携講座 「最高の科学技術を子どもたちに！」 動く昆虫メカを作ろう！—大学教授と学ぶものづくり— 講師：中京大学教授 森島昭男 他 (人工知能高等研究所所属) (小学生と保護者)	9月2日(土)	38 小人 20 大人 18	中京大学・人工知能高等研究所		○
親子からくり教室 九代玉屋庄兵衛さんによる茶運び人形の実演とお話、茶運び人形の変身からくりを工作するワークショップ (小学生と保護者)	9月24日(日)	17組 35	九代玉屋庄兵衛後援会		
中京大学ソフトサイエンスシリーズ第39回 「AIが拓く未来の産業」 講師：産業技術総合研究所人工知能研究センター長、マンチェスター大学教授(兼任)、東京大学名誉教授 工学博士 辻井潤一	10月6日(金)	287	中京大学・人工知能高等研究所、中部経済同友会		○
第38回古川為三郎サイエンス講演会 「ビックバンの交響楽」 講師：名古屋大学理学部・大学院理学研究科長 杉山直	2月17日(土)	224		○	

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
お菓子な教室 「ラムネとカルメ焼き」 (小学5年生～中学生)	3月24日(土) 3月25日(日) (4回実施)	83		○	
かがくの実験室 「家にあるモノで実験しちゃおう！」 (小学3・4年生と保護者)	3月28日(水) 3月29日(木) (4回実施)	102		○	

(3) 生命環境分野

(講師:敬称略)

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
第44回「化石を語る」文化講演会 「手取層群の恐竜とトリティロドン」 講師:京都大学大学院助教授 松岡廣繁	4月29日(祝)	137	東海化石研究会 中日新聞社		
フィールドセミナー 地球教室 学習した後現地で実習する2日連続講座 (小学3年生以上、小学生保護者同伴)		123 (内訳)			○
①ナゴヤで化石をさがそう! (名古屋大学博物館、名古屋駅周辺と栄地区)	5月20日(土) 21日(日)	30	名古屋大学 博物館		○
②愛知県の石ピッチストーンってどんな石 (名古屋大学博物館、新城市鳳来寺山)	8月26日(土) 27日(日)	31	協力 ・愛知大学名古屋 一般教育研究室		○
③博物館の収蔵庫と野外で深海の地層と化石 を調べよう! (名古屋大学博物館、南知多の海岸)	11月11日(土) 12日(日)	34	・鳳来寺山自然科 学博物館 ・蒲郡市生命の海 科学館		○
④鉱物をさがそう! (名古屋市科学館、蒲郡市生命の海科学館、 三田石材(愛知県西尾市))	2月24日(土) 25日(日)	28			○
フェアトレードって何だろう?-見つけよう! おいしいチョコレートのヒミツ- チョコレートのおいしさのヒミツを学びな がらフェアトレードについて紹介するととも に、ミツバチの生態観察とはちみつの糖度計 測を行い、チョコレートやミツバチに関連す る科学館内の展示品を紹介する 講師:愛知県立愛知商業高等学校ユネスコ クラブ員 (小・中学生と保護者)	5月28日(日)	55 小人30 大人25	愛知県立愛知商 業高等学校ユネ スコクラブ、フェ アトレード名古 屋ネットワーク		
第24回生きている地球の記録 2017年グリーンイメー国際環境映像祭入 賞作品上映会 「海-消えたプラスチックの謎」始め6本	7月23日(日)	209	(公財)三菱UFJ環 境財団、中日新聞 社、グリーンイメ ー国際環境映 像祭実行委員会		

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
おじゃま虫キャラバン 「ハチのからだを見てみよう」 ①スズメバチをはじめとした生きた昆虫や標本、衛生害虫の模型などの展示、簡単な工作 ②ハチ標本作り講習会	8月2日(水)	500 42	健康福祉局 生活衛生センター	○	
お天気キャスターと学ぼう ①講座 ②トークショー 講師：NPO法人気象キャスターネットワーク所属キャスター、小塩哲朗 (小学生と保護者)	8月19日(土)	40 200	NPO法人気象キャスターネットワーク		
かがくゼミナール いのちをつなぐ「へそのお」と「たいばん」 講師：名古屋大学名誉教授 鈴木和代、 ナーベルプラ座メンバー (小学校3年生～中学生と保護者)	8月20日(日)	41 小人22 大人19		○	
おくすり実験隊(薬剤師)が科学館にやってくる! ①おくすり実験隊 ②おくすり研究隊 (小学生以上) 講師：名古屋市薬剤師会会員	8月27日(日)	250 60	(一社)名古屋市薬剤師会		
ようこそ生命科学の世界へ 名古屋市立大学×名古屋市科学館 サイエンスパートナーシップイベント 「ウイルスのふしぎ」 講師：システム自然科学研究科教授 鈴木善幸 「脳細胞の再生」 講師：医学研究科教授 澤本和延 「神経の病気の謎に迫る！」 講師：薬学研究科教授 白根道子 監修：大学院医学研究科特任教授 赤津裕康 研究者・学芸員との交流会 生命館展示室特別ツアー (中学生・高校生、中学生保護者同伴)	9月2日(土)	43	名古屋市立大学		○
第102回 農芸化学会サイエンスカフェ in 名古屋 「健康のための栄養と運動」 講師：名古屋大学大学院生命農学研究科教授 下村吉治 (高校生以上)	9月28日(木)	53	(公社)日本農芸化学会		
第13回 気象サイエンスカフェ in 名古屋 講師：中部大学教授・国際GISセンター長 福井宏道 (中学生以上、中学生保護者同伴)	10月21日(土)	40	(公社)日本気象学会中部支部 (一社)日本気象予報士会東海支部		

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
第3回病院の機械を操作してみよう！ ～いのちのエンジニア体験～ 様々な医療機器の展示と操作の体験、関連する豆知識講座、展示ガイドツアーなど	10月21日(土) 22日(日)	3,778	(一社)愛知県臨床工学技士会		
かがくゼミナール 「くすりのなかみを見てみよう」薬との上手なつきあい方 パート14 講師：名古屋市薬剤師会 長谷川摂子 (小学3年～中学生と保護者)	10月29日(日)	31 小人17 大人14		○	
中学・高校生を対象としたサイエンスカフェ in 名古屋 (※特別協力) 「地球がデザインした結晶」 講師：西本昌司 「結晶の形はどう決まる？」 講師：名古屋市立大学システム自然科学研究科准教授 三浦均	11月18日(土)	31	名古屋市立大学		○
クイズラリー どうしてケガは治るの？ クイズで学ぶ体の仕組み ※藤田保健衛生大学 アセンブリⅡ活動の一環として実施(クイズ作成実施 医学部・医療科学部2年生5名)	11月26日(日)	360	藤田保健衛生大学		
かがくの実験室 「ニホンイノシシ解体教室～野生動物の体のしくみと人との共生～」 講師：畏師 三浦光 (小学5年生以上、小学生保護者同伴)	2月3日(土)	24 小人6 大人18		○	
かがくゼミナール 「薬局の薬で実験しよう 漢方編」薬との上手なつきあい方 パート15 講師：名古屋市薬剤師会 長谷川摂子 他 (中学生～高校生)	2月4日(日)	29 中学生24 高校生5		○	
地球温暖化カフェ 講師：環境省地球温暖化防止コミュニケーター 牧原鉄男、小塩哲朗 (小学5年生以上)	3月17日(土)	34	(一社)環境創造研究センター		
おやこ教室 「氷であそぼう」 (小学1～4年生と保護者)	3月30日(金) 3月31日(土) (4回実施)	106		○	

(4) その他イベント

(講師：敬称略)

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
科学技術週間記念講演会 ①講演会 人とふれあうロボット (1)「そばにいてくれる友達セラピーロボット パロ」 講師：産業技術総合研究所上級主任研究員 柴田崇徳 (2)「対話型ロボット CommU とこれからについて 考えよう！」 講師：大阪大学准教授 吉川雄一郎 ②科学技術映像祭入選作品発表会 第 58 回科学技術映像祭出品作品「いのちを 未来につなぐ～東山動植物園開園 80 年～」 特別奨励賞受賞作品「スケスケ大図鑑メタ モルフォーゼカブトムシ」	4月22日(土)	133	(公財)中部科学 技術センター		
名古屋市立工業高等学校 特別企画 「名市工パーク」 ①飛行機パーク 機体の展示、製作風景・試験飛行の映像紹 介、製作生徒によるプレゼンテーション ②体験パーク 工作、AR 体験、職業体験 ③展示パーク 映像による学校紹介	6月9日(金) ～11日(日)	1,311	名古屋市立工業 高等学校		
青少年のための科学の祭典 2017 名古屋大会 ①実験・工作ブース 「なるほど実験室」「しぜんの屋台村」 「不思議の広場」「わくわく工房」 (以上名古屋市科学館) 「でんきのオアシス」(でんきの科学館) ②サイエンスステージ (でんきの科学館)	10月7日(土) 8日(日)	4,219 (7,669) ()内はでん きの科学館 含む	「青少年のため の科学の祭典」 名古屋大会実行 委員会 (公財)中部科学 技術センター (公財)日本科学 技術振興財団・ 科学技術館 中日新聞社		

※連携…連携協定に基づくもの

(5) 出前ミュージアム(その道の達人派遣事業)及び館外事業

職員やボランティアが小中学校へ出向き、日ごろ学校では実施困難な大型機材を活用した科学実験ショー、身近な材料を使用した科学工作の指導及び学芸員によるオリジナルな資料等を使用した科学講座を展開し、ふだんと一味違った授業を行った。

①出前ものづくり工房(ものづくりボランティア)

テーマ	区	学校名	学年	月	日	曜	参加者数	ボランティア数
びっくりへび・虹の筒	中	名城小学校	1・2	6	13	火	43・40	8
びっくりへび・虹の筒	緑	常安小学校	1・2	6	14	水	31・50	4
ぱたぱたチョウ・浮沈子・息をする人形	緑	黒石小学校	3・4・6	6	15	木	38・43・45	12
浮沈子	中川	篠原小学校	4	6	20	火	90	4
ぱたぱたチョウ・息をする人形	昭和	吹上小学校	3・6	6	22	木	54・51	8
浮沈子	中川	玉川小学校	4	6	27	火	65	4
浮沈子	南	笠寺小学校	4	6	28	水	68	4
びっくりへび	千種	星ヶ丘小学校	1	7	5	水	76	4
息をする人形	天白	表山小学校	6	7	6	木	96	12
びっくりへび・虹の筒	港	港西小学校	1・2	9	13	水	107・77	12
びっくりへび	西	稲生小学校	1	9	27	水	121	8
虹の筒	緑	熊の前小学校	2	11	9	木	127	8
びっくりへび・虹の筒	中川	西前田小学校	1・2	11	16	木	45・47	8
びっくりへび・虹の筒	名東	牧の原小学校	1・2	11	22	水	39・42	8
びっくりへび	西	平田小学校	2	11	28	火	77	4
びっくりへび	名東	藤が丘小学校	1	12	6	水	115	8
びっくりへび・虹の筒	西	城西小学校	1・2	12	12	火	62・67	8
虹の筒	南	明治小学校	2	1	12	金	41	4
ぱたぱたチョウ	守山	志段味西小学校	3	1	16	火	115	4
びっくりへび・虹の筒	中川	赤星小学校	1・2	1	18	木	58・74	8
びっくりへび・虹の筒・ぱたぱたチョウ	北	楠西小学校	1・2・3	1	23	火	45・59・48	8
ぱたぱたチョウ	緑	大高北小学校	3	1	25	木	53	4
ぱたぱたチョウ	中川	万場小学校	3	1	30	火	68	4
びっくりへび・虹の筒	瑞穂	瑞穂小学校	1・2	1	31	水	69・67	8
ぱたぱたチョウ	千種	千代田橋小学校	3	2	2	金	79	4
虹の筒・ぱたぱたチョウ	中	松原小学校	2・3	2	7	水	31・45	4
びっくりへび・虹の筒・ぱたぱたチョウ	港	野跡小学校	1・2・3	2	20	火	23・37・32	8
びっくりへび・虹の筒・ぱたぱたチョウ	中川	戸田小学校	1・2・3	3	6	火	98・103・106	12
計				28回			2,967	192
平成28年度実績				27回			2,777	189

②出前サイエンスゼミナール（学芸員）

内 容	実 施 学 校 名	開催期日	参加者数(人)
水素で走るクルマの話	穂波小学校 5年生	2月7日(水)	93
空気の花	太子小学校 4年生	6月20日(火)	87
	野田小学校 4年生	11月24日(金)	90
雪の結晶をつくろう	千代田橋小学校 3年生	10月19日(木)	81
	松原小学校 5年生	1月31日(水)	38
岩石の観察と地球の歴史	西前田小学校 6年生	11月7日(火)	37
計		6回	426
		平成28年度実績	10回
			655

③トワイライト事業（運営員）

内 容	実施学校名	開催期日	参加者数(人)	共 催 者
低温の実験・静電気の実験	平針南小学校	5月18日(木)	53	(公財)名古屋市教育スポーツ協会
	苗代小学校	10月12日(木)	48	
	笠東小学校	10月26日(木)	48	
	東志賀小学校	11月16日(木)	35	
	大手小学校	11月30日(木)	72	
	川中小学校	2月22日(木)	37	
	大清水小学校	3月1日(木)	62	
計		7回	355	
		平成28年度実績	7回	
			356	

(6) ボランティアの養成及び活用

①天文ボランティア (ALC) 登録者数 132 人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
【養成】 天文指導者養成講座 天文事業にボランティアとして協力できる人材を養成する講座で、参加資格は高校生以上(基礎講座5回・実技講座5回・宿泊研修・講演会等)。	9月16日(日) ～ 3月25日(日)	12
【活用(館内事業)】 天文指導者養成講座修了者を天文ボランティアとして活用		845
1) 市民観望会(12回)	4月29日(土) ～ 3月10日(土)	延べ 359
2) 昼間の星をみる会(24回)	4月9日(日) ～ 3月25日(日)	延べ 486
【活用(館内連携事業)】 名古屋市環境局との共催 星空継続観察	8月12日(日) 1月7日(日)	延べ 32
【活用(館外連携事業)】 (公財)名古屋市市民休暇村管理公社との共催		-
1) おんたけ天文教室	6/26の地震の 影響で中止	-
2) おんたけ休暇村 夏の観望会		-
3) おんたけ子ども村スターウォッチング		-
【研修等】 各天文事業の勉強会など	合計 15 日	延べ 136

②ものづくりボランティア 登録者数：141人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人) ()内は参加者数
【養成】 ものづくりボランティア養成講座 ものづくり工房をはじめとして、各種事業において、実験工作などの学習支援者となるボランティアの養成(講座7回)で、参加資格は18歳以上。受講修了者のうち希望する者はものづくりボランティアとして登録	12月2日(土) ～ 2月3日(土)	20
【活用(館内事業)】 館の事業(ものづくり工房・ものづくり教室)の学習支援者として活動	合計 50 回 4月～3月	200 (4,611)
(注)詳細は、別掲の「名古屋少年少女発明クラブ」の項に掲載		

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人) ()内は参加者数
1) ものづくり工房 毎週土曜日 (夏・冬・春休みを除く)	合計 40 回 4 月～3 月	160 (4, 378)
2) ものづくり教室 第 3 土曜日 (8・3 月を除く)	合計 10 回 4 月～2 月	40 (233)
【活用 (館外連携事業)】 生涯学習施設、類似施設及び小中学校との連携事業の 学習支援者として活動	合計 43 回 6 月～3 月	272 (4, 865)
1) 生涯学習センターとの連携	合計 5 回	23 (123)
		内訳
①中川生涯学習センター「青年ふれあい日曜学校」	7 月 30 日(日)	5 (21)
②中文化センター「科学工作教室」	8 月 24 日(木)	4 (18)
③中村生涯学習センター「親子科学工作教室」	11 月 3 日(祝)	4 (40)
④中生涯学習センター「親子科学工作教室」	1 月 11 日(土)	5 (10)
⑤熱田生涯学習センター「親子科学工作教室」	11 月 25 日(土)	5 (34)
2) 類似施設との連携	合計 3 回	25 (1, 198)
		内訳
①とよたわくわくワールド「ものづくりフェスタ」	11 月 5 日(日)	5(1, 044)
②とだがわこどもランド「科学工作教室」	7 月 17 日(祝)・3 月 18 日(土)	10 (70)
③東邦ガス ガスエネルギー館「エコ教室」	7 月 23 日(日)・3 月 4 日(日)	10 (84)
3) 出前ものづくり工房 (マイスクールプラン)	合計 2 回	12 (249)
		内訳
①城西小学校 3 年生「ぱたぱたチョウ」	2 月 14 日(水)	4 (47)
②稲生小学校 2 年生「虹の筒」 3 年生「ぱたぱたチョウ」	2 月 27 日(火)	8 (79)
4) 出前ものづくり工房 (出前ミュージアム)	合計 28 回 6 月～3 月	192 (2, 967)
(注)詳細は、別掲の「出前ミュージアム」の項に掲載		
5) 出前ものづくり教室 (名古屋少年少女発明クラブ)	合計 5 回 2 月～3 月	20 (328)
(注)詳細は、別掲の「名古屋少年少女発明クラブ」の項に掲載		
【自主企画事業 (ものづくりひろば)】 ものづくりボランティアの自主企画事業として、休日・ 祝日・小中学校の長期休業期間等の来館者を対象に実施。 同時にボランティアの研修の場ともしている。	合計 35 回 4 月～3 月	249 (3, 520)

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
【研修等】 総会（定例会①）	4月8日(土)	97
定例会②	9月2日(土)	104
定例会③	2月3日(土)	105

③展示室ボランティア 登録者数：244人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
【養成】 展示室ボランティア養成講座 常設展示等の説明・安全指導等を行うボランティアの養成 (講座7回)で、参加資格は18歳以上。受講修了者のうち 希望する者は展示室ボランティアとして登録	1月12日(金) ～ 3月21日(水)	30
【活用】 1) 展示フロアでの活動 常設展示等の説明、常設展示等の利用にあたっての安全 指導、常設展示等の運営の補助業務に活用	4月1日(土) ～ 3月31日(土)	延べ 4,438
2) ワゴン実演 サイエンスショー待ち時間などを利用して、磁石や偏光 板を使いマジックショー仕立てでの説明	4月2日(日) ～ 3月6日(火)	延べ 51
3) タッチ&トーク 地質系の実物標本(化石・岩石など)を来館者に解説しな がら観察、触れてもらう機会を提供	4月2日(日) ～ 3月31日(土)	延べ 75
4) ウッディ・プレイランド 理工館2階ウッディ・プレイランドで、玩具の遊び方 の伝授	4月6日(木)～ 3月30日(金)	延べ 51
【研修等】 総会	4月15日(土)	126
フォローアップ研修 第1～6回	4月～3月	延べ 547
ワゴン実演自主研修(月に1回程度)	4月～3月	24
タッチ&トーク自主研修(月に1回程度)	4月～3月	20
ウッディ・プレイランド自主研修(月に1回程度)	4月～3月	29

④B6蒸気機関車整備ボランティア 登録者数：18人

屋外展示のB6型蒸気機関車の調査及び整備を行う。29年度は実績なし。

(7) 科学館友の会

昭和 38 年 4 月に発足した「名古屋星の会」と昭和 41 年 7 月に発足した「科学館友の会」を前身とする。昭和 53 年 4 月からは科学館振興協会の一部会として運営されていたが、平成 16 年 3 月の科学館振興協会の解散に伴い、平成 16 年 4 月から（公財）中部科学技術センターの協力のもとに運営されている。

①天文クラブ

会員数 1,004 人（一般クラス） 会費 4,000 円

(例会)

区分	一般クラス(高校生以上)
例会	年 6 回木・金曜日（年 6 回実施）
	18：30～20：00
1	どこまで見える？
2	猛スピードで動く地球
3	銀河系のすがた
4	宇宙望遠鏡を操る
5	宇宙のクロニクル
6	ブラックホールシャドー

(特別行事)

内 容	開催期日	参加者数 (人)
おんたけ天文教室〈名古屋市民おんたけ休暇村〉	地震の影響で中止	—
特別天体観望会 土星 午後 8 時～9 時	8 月 4 日 (金)	112
月 午後 7 時～8 時	2 月 22 日 (木)	50

(出版物) 機関紙「？」No. 194～199 発行

②サイエンスクラブ

会員数 448 人（小学生クラス：320 人 会費 7,000 円、中学生クラス：128 人 会費 8,000 円）

(例会)

区分	小学生クラス(小学 5・6 年生)	中学生クラス
例会	年 6 回 土・日曜日	年 6 回 土・日曜日
	A～C 10：00～12：40 (計 30 回実施)	A～C 10：00～12：40 (計 12 回実施)
	D、E 9：55～10：50 (計 2 回実施)	D、E 9：55～10：50 (計 2 回実施)
	S 10：00～12：00 (日曜日クラス対象) 14：00～16：00 (土曜日クラス対象)	S 10：00～12：00 (日曜日クラス対象) 14：00～16：00 (土曜日クラス対象)
A	かんたんアニメーションをつくろう	砂の中の鉱物
B	電気パンケーキをつくろう	タッチセンサーをつくろう
C	電子ピカピカ蛍をつくろう	スズリナの科学
D	星座をみつけよう	太陽系グランドツアー
E	宇宙へ飛び出そう！	宇宙の果ては？
S	サイエンススペシャル	サイエンススペシャル

(夜間観望会)

内 容	開催期日	参加者数 (人)
土星 午後 7 時 45 分～9 時 15 分	8 月 26 日 (土)	628 (保護者含む)
月 午後 6 時 30 分～8 時	2 月 25 日 (日)	190 (保護者含む)

(8) 名古屋少年少女発明クラブとの連携事業

平成14年度から18年度までの「発明発見創造クラブ」を、全国的な広がりをもつ「少年少女発明クラブ」に移行したものである。平成19年3月に設立された「名古屋少年少女発明クラブ」の主催者は名古屋市と一般社団法人愛知県発明協会で、事務局は名古屋市市民経済局産業部次世代産業振興課が担当している。

主に小中学生を対象にし、科学技術やものづくりに関心をもつ人材の育成を目的として、ものづくり体験事業を実施している。科学館では「ものづくり工房・教室」、「地球工房・教室」、「ロボット工房・教室」を実施している。また、「ロボカップジュニアなごや大会・なごやオープン」「ロボカップジュニア東海大会」の主催をしている。

①「ものづくりコース」

ものづくりの楽しさや、科学への興味、関心を高める。来館した小中学生を対象に、身近な素材を利用して簡単な科学工作を行う。ものづくりボランティアが学習支援を行い、ものづくりの大切さを知らせる。

1)ものづくり工房 (土曜日・無料)

月	工 作 内 容	日数	参加者数(人)	月	工 作 内 容	日数	参加者数(人)
4	トンボこま	4	501	11	まわせ！UFO	4	404
5	あしあと	4	633	12	スタースピナー	3	306
6	にじがみえる「わ」!	4	360	1	アサラが消えた!	3	277
7	紙皿でUFO♡	4	470	2	ふうDEくるくる!	4	420
9	くるくるロボット	5	426	3	ストロー飛行機	3	371
10	エンドレス・ループ	2	210	計		40	4,378

【参考】 平成28年度開催日数 40日
平成28年度参加者数 4,696人

2)ものづくり教室 (第3土曜日等・有料)

開催期日	工 作 内 容	参加者数(人)	開催期日	工 作 内 容	参加者数(人)
4月15日	リニアモーター	25	11月18日	くるくるクリスマス	26
5月20日	かあ?	22	12月16日		32
6月17日	イリュージョン	13	1月20日	がちゃ★ピカ★	29
7月15日	パンダ	10	2月17日	アサラ	32
9月16日	マジカル#ハンド	23	計		233
10月21日		21			

3)出前ものづくり教室

小中学校及び関係団体等との連携事業

場 所 及 び 内 容		開催期日	参加者数(人)
①見付小学校3年生	「ばたばたチョウ」	2月6日	328 (うちボランティア20)
②野田小学校3年生	「ばたばたチョウ」	2月21日	
③相生小学校1年生	「びっくりへび」	2月28日	
相生小学校2年生	「虹の筒」		
相生小学校3年生	「ばたばたチョウ」		
④宮根小学校3年生	「ばたばたチョウ」	3月8日	
⑤平和が丘小学校3年生	「虹の筒」	3月13日	

②「ロボットコース」

これからのものづくりに求められるソフトウェアに強い人材を育成する。ロボットの機械の動きを制御するプログラミング能力を高める。

1) ロボット工房 (毎月第1・第3日曜日・無料) ※参加者数は見学者を含まない

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	1	29	10	2	87
5	1	23	11	1	34
6	2	43	12	2	73
7	2	57	1	2	55
8	1	36	2	2	56
9	2	81	3	2	66
			計	20	640

【参考】 平成28年度開催日数 20日
平成28年度参加者数 547人

2) ロボット教室

- ・開催期日 毎月第3日曜日(3月は第2日曜日)と8月8日(火)・9日(水)
- ・対象 小学校4年～中学生
- ・内容 ロボットの組み立て(初級者向け)
- ・参加費 17,000円

開催期日	参加者数(人)	開催期日	参加者数(人)
4月16日	8	11月19日	8
5月21日	9	12月17日	9
6月18日	10	1月21日	6
7月16日	9	2月18日	4
8月8・9日連続	20	3月11日	9
		計	92

【参考】 平成28年度開催日数 11日
平成28年度参加者数 90人

3) 発展型コロボ教室・ロボットステップアップ講座

- ・対象： 小学校4年～中学生
- ・内容： ロボットの組み立てとプログラミング(中級者向け)
- ・参加費： 無料

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	1	11	10	2	30
5	2	23	11	1	16
6	2	24	12	1	17
7	2	28	1	-	-
8	1	15	2	1	17
9	2	31	3	-	-
			計	15	212

【参考】 平成28年度開催日数 21日
平成28年度参加者数 235人

4) ロボカップジュニア大会

○ロボカップジュニア名古屋ノード大会 Nippon リーグビギナーズアドバンストリーグ

- ・開催期日 10月28日(土)
- ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
- ・参加者数 小学4年～高校生(サッカーロボット経験者対象) 29人

※上位5チームが東海ブロック大会出場

- ロボカップジュニア名古屋ノード大会 Nippon リーグビギナーズブルーキーリーグ
 - ・開催期日 10月29日(日)
 - ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
 - ・参加者数 小学4年～中学生(サッカーロボット初心者対象。名古屋市科学館のロボット教室参加者や、名古屋少年少女発明クラブで支援している市内小中学校からも参加。) 66人

※サッカーA 上位4チームが東海ブロック大会出場

- ロボカップジュニア名古屋ノード大会 World リーグライトウェイト
 - ・開催期日 10月29日(日)
 - ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
 - ・参加者数 平成30年7月1日で19才以下対象 16人

※上位2チームが東海ブロック大会出場

- ロボカップジュニア名古屋ノード大会 World リーグオープン
 - ・開催期日 10月28日(土)
 - ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
 - ・参加者数 平成30年7月1日で19才以下対象 9人

※上位2チームが東海ブロック大会出場

- ロボカップジュニア東海ブロック大会

- ・開催期日 12月9日(土)
- ・会場 愛知工業大学名電高等学校 淳和記念館
- ・内容 地区大会(名古屋大会始め8地区)から選抜されたチームが対戦し、日本大会選抜者を決定する。競技種目はサッカー・レスキュー・OnStageの3種目。
- ・参加者数

サッカー	30チーム(66人)
レスキュー	32チーム(63人)
OnStage	5チーム(20人)

- ロボカップジュニア・ジャパンオープン2018 和歌山

- ・開催期日 3月31(土)・4月1日(日)
- ・会場 和歌山ビッグホエール
- ・内容 競技種目はサッカー・レスキュー・OnStage・CoSpaceの4種目。当館チームはサッカーに出場。
- ・当館からの参加者数

Nippon リーグビギナーズ	4チーム(8人)
World リーグライトウェイト	2チーム(4人)
World リーグオープン	3チーム(6人)

③「地球コース」

鉱物や化石などを使ったものづくりを通して、観察することの楽しさや地球への関心を高める。
地球工房(毎週土・日曜日、祝日・有料)

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	10	605	10	4	256
5	11	936	11	7	383
6	6	381	12	4	153
7	11	761	1	9	512
8	11	1,086	2	7	461
9	7	424	3	8	440
			計	95	6,398

【参考】 平成28年度開催日数 99日 平成28年度参加者数 6,188人

(9) コンクール事業

事業名及び内容	募集期間	展示期間	区分	参加資格	応募数 (顕彰数)
平成 29 年度 科学創作コンクール ①「科学の夢を描く部門」 (B3判 画用紙) ②「科学工作部門」 (科学的な考えを生かして 作った作品) ③「理科自由研究部門」 小3・4、小5、小6、中 1、中2、中3の6部門に 分け、観察や実験による理 科の自由研究レポートを 募集 以上3部門に分けて創作作品 を募集 ・応募作品の中から、優秀な作 品を顕彰し館内で展示 ・中日新聞社、(公財)中部科学 技術センター共催	8月31日(木) ~ 9月7日(木)	10月12日(木) ~10月19日(木) 表彰式 10月14日(土) (参加者271人)	絵画 部門	幼児 (3歳以上) 小・中学生 (個人)	221点 (31点)
			工作 部門	小・中学生、 高校生 (個人又はグ ループ)	77点 (21点)
			自由研究 部門	小学3年 ~中学生 (個人)	68点
			小3・4年		35点
			小5年		93点
			小6年		348点
			中1年		260点
			中2年		57点
			中3年		861点 (48点)
			計		
第61回 日本学生科学賞愛知県展 ・観察や実験による理科の自由 研究のレポートを募集 ・応募作品の中から、優秀な作 品を顕彰し館内で展示 ・読売新聞社共催	10月12日(木) ~ 10月13日(金)	10月24日(火) ~10月28日(土) 表彰式 10月28日(土) (参加者70人)	物理	中・高校生 (個人、又は グループ)	51点 (7点)
			化学		
			生物		
			地学		
			一般		

(10) 博物館実習生の受入れ

博物館法施行規則で定められた「博物館実習」を以下のように実施した。

趣 旨	生涯学習の場である科学館の役割を理解し、生涯学習の手法について 学び、学芸員としての知識・技能・態度を身につける
実 習 期 間	7月29日(土)~8月9日(水) 合計10日間(7月31日(月)、8月7日(月)を除く)
実 習 生	日本大学 1 筑波大学 1 高知大学 1 東京学芸大学 1 静岡大学 1 信州大学 1 名城大学 1 合計 7人
実 習 内 容	名古屋市科学館及び常設展示、館内・事業見学、各種教育普及活動見学及び補助、広報活動、ボランティア、実演と説明業務、展示品の保守、天文の事業とプラネタリウム、自主企画など

(11) 職場体験学習・職場訪問学習など

①職場体験学習・職場訪問学習

総合的な学習や社会体験学習の一環として行われる職場体験学習・職場訪問学習を、各学校の依頼に対応して実施している。職場体験学習では、館内の接客業務や実演の準備、展示品の保守管理、資料の整理などの体験活動を行っている。また、職場訪問学習では、館の概要や館内の業務についての講義や質疑応答を行っている。

区 分	職場体験	職場訪問
小学校	—	—
中学校	11校 32人	17校 238人
高等学校	1校 1人	1校 2人
教 員	7校 7人	—

②大学からのインターンシップ受入

名古屋大学 修士課程大学院生（1名）（7/20～11/5のうち計21日間）
テーマ「生命科学の教育普及活動」

5 調査研究

(テーマ1) サイエンスショーの新しい手法の調査

科学館は、前回訪れた時とは違った展示を見たり体験できたりする場を提供する必要がある。プラネタリウムの番組を毎月変えたり、特別展を開催したりするのと同様に、サイエンスショーもまた、新たな演目を付け加える等して、工夫し続けなければならない。

サイエンスショーは、1度に約100人の見学者に対して大がかりな実験ショーを実施しているが、この規模の実験の演目は種類が多くなく、新たな演目の開発が課題であった。そこで、今まで、実験の見栄えが小さくサイエンスショーには不向きだと思われていたものの、とても身近で不思議な現象を起こす「磁石」に着目し、他の科学館で行われている磁石のショーを調査し、実験のやり方や見せ方、説明の仕方、ショーのシナリオ等を研究した。今後は、当館のステージで披露するに耐える新たな演目の開発に繋げていきたい。

(テーマ2) からだに関する常設展示とワークショップに関する研究

生命館4階の常設展示室「人体のふしぎ」では「からだ」について学ぶ体験的な展示を複数年度かけて更新している。

視覚や触覚といった、ヒトの感覚に注目した体験型のワークショップや展示について、不特定多数の来館者が体験するという点に留意して開発・検討を行った。また、ワークショップや展示などを、企画展「さわってビックリ！見てフシギ？人間の皮膚」にも取り入れることにより、知識の普及に寄与した。今後も、さらに検討を重ねて各種活動に活かしていきたい。

(テーマ3) 皆既日食の撮影手法の研究

2017年8月22日（日本時間）、アメリカ大陸を西から東に横断する好条件の皆既日食が起きた。皆既日食は数ある天文現象の中でも特に印象的であり、市民が空や宇宙に魅力を感じたり、関心を持ったりするきっかけになる。

そこで本研究では、この日食を天文学そして天文教育的な見地から効果的に記録するための機材や撮影方法について研究した。機材の性能は日進月歩で、当時入手可能な機材として例えば高輝度領域を圧縮せず自然な階調で再現できるビデオカメラなどがあり、日食の特殊な状況を考慮して機材の選定を行った。合わせて機材それぞれの最適な撮影方法を検討し、実際に皆既日食を複数の機材で記録した。皆既日食の記録データをプラネタリウムで活用するとともに、各種講座や展示でも使用して多くの市民に皆既日食を体験していただいた。

6 印刷物の発行

名 称	内 容	発行部数	主な配布先
アサラスコープ No. 416～418	科学館広報誌 No. 416, 418 A 4 版 8 頁 No. 417 A 4 版 4 頁	70,000	別 掲
名古屋市科学館要覧 (平成 29 年度)	A 4 版 77 頁	100	科学館ホームページにて PDF データで公開 (平成 24 年度～)
名古屋市科学館紀要 第 44 号	調査研究の報告 他 A 4 版 47 頁	300	国内博物館施設 市内生涯学習施設 関係大学図書館等

「アサラスコープ」の主な配布先(配布場所)

市立小学校、16 区役所・6 支所、市立図書館、市生涯学習センター、市民情報センター、公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー 等

7 広報活動

種 別	内 容	実施時期	備 考
名古屋市による広報	名古屋市発行の「広報なごや」に館行事を掲載し、市民への周知に努めた	毎月	市内全戸配布 約 100 万部
マスコミへの広報	1) 市がもつテレビ・ラジオ番組に、資料を提供し、また、番組にも出演した	随時	新聞社 8 社 放送 9 社 通信 2 社
	2) 名古屋市政記者クラブを通して、広く PR を行った	随時	を始め出版、タウン情報誌など約 80 社
ポ ス タ ー	特別展について、地下鉄、私鉄、市広報板に掲出し、また、市内の学校などに送付した	随時	区役所、生涯学習センターなどの市民利用施設及び関係機関 約 650 か所
アサラスコープ	科学に関する解説や、館の行事予定などをまとめて配布した	年 3 回	(NO. 416) 25,000 部 (NO. 417) 20,000 部 (NO. 418) 25,000 部
案内パンフレット・チラシ	行事ごとにパンフレット及びチラシを作成した(見学ガイド、7カ国語リーフレットほか)	随時	
他施設等の広報誌による広報	他施設の広報紙に資料提供し、広く市民に周知を図った(観光ガイド・生涯学習なごやなど)	随時	
ダイレクトメール	県内及び県外の小・中学校、観光旅行者にパンフレットを送付した	随時	
ホームページ	ホームページによる館の情報提供や行事案内を行った	随時	

8 他施設との交流

(1) 国内活動

同種施設との情報交換のほか、下記の協会及び協議会等に加盟し、関係会議、研究会に職員を派遣したほか、関係資料の収集に努めた。

- 全国科学博物館協議会
- 全国科学館連携協議会
- 指定都市科学館連絡会議
- 東海地区博物館連絡協議会
- 愛知県博物館協会
- 日本プラネタリウム協議会
- 天文教育普及研究会
- 日本天文学会
- 東亜天文学会

(2) 国際活動

下記の国際組織に加盟し、積極的に海外博物館資料の収集に努めた。

- 国際プラネタリウム協会 I P S

(3) 視察受入れ

科学館の広報・誘致、科学館の展示・事業の企画、博物館施設等の整備・運営方法の検討等を目的とした、複数の国内外の視察者（博物館施設職員、他都市職員・議員等）を受け入れた。

(4) 芸術と科学の杜

白川公園一帯を「芸術と科学の杜」と位置づけ、地元町内会・商店街、専門学校、文化施設、名古屋市美術館と連携してさまざまな魅力ある事業の展開をした。

【29年度の主な取り組み】

5月15日（月）・16日（火）

- 買いにおいでデー

通常一般の方はご入店できない有名デパート・小売店への「卸問屋」にて買い物ができる2日間。

芸術と科学の杜事業の周知を図るため、訪れる方に地域の公共施設に関するクイズゲームを実施。

参加者数：540人

8月19日（土）・20日（日）

- 広小路夏祭り

山車や音楽パレード、阿波踊りなど楽しいイベントでの夏まつりが盛り上がる、毎年2日間で50万人以上が集まる名古屋の夏の一大イベント。折り紙・ぬり絵の参加者に施設のグッズ等をプレゼントし、芸術と科学の杜の公共施設と触れ合う機会を提供。

参加者数：1,300人

- 9月 ○ 芸術と科学の杜 探索マップ制作 (50,000部)
 地元商店街と連携し、名古屋コミュニケーションアート専門学校の協力を得て制作。
 飲食店以外にも事業所・まちなかアート作品・地域歴史情報も掲載。

11月3日(金・祝)・4日(土)

- アート大会 市美術館が企画・実施 参加者 のべ 3,210人
 白川公園を会場として家族で楽しめるイベント(対象:来館者)
 ・「はじけるパウダーで大きな地上絵をかこう！」
 ・「ラインをたどって、なぞをとこう！」
 ・「魔法ペンとミラーカードで、キラキラ・サンクンガーデン」
- 杜の駅@科学館 参加者 のべ 14,354人
 ・杜のステージ(バンド演奏・大道芸ほか)
 ・出店ブース(周辺の商店街・専門学校などがブースを出店)
- まち歩きイベント 参加者 のべ 1,167人
 ・「芸科の杜 クイズビンゴ」

1月12日(金)

- 科学館プラネタリウム特別投影会 参加者 210人
 地元商店街向けにプラネタリウム特別投影を実施

○エコパルなごや出張ワークショップ

開催日	参加者数(人)	開催日	参加者数(人)
6月25日(日)	238	10月29日(日)	365
7月23日(日)	150	1月22日(日)	114
9月24日(日)	237	2月5日(日)	850
		計	1,954

(5) 研究機関等との相互協定等

- 平成23年4月1日 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所との相互協力に関する協定
- 平成24年3月19日 名古屋大学理学部との相互協力に関する協定
- 平成24年5月1日 名古屋大学情報文化学部との相互協力に関する協定
 (平成29年6月1日 名古屋大学情報学部及び名古屋大学大学院情報学研究科に名称変更)
- 平成24年7月18日 独立行政法人宇宙航空研究開発機構との相互協力に関する協定
- 平成25年3月26日 名古屋大学博物館との相互協力に関する協定
- 平成25年9月29日 中京大学人工知能高等研究所との相互協力に関する協定
- 平成28年3月29日 名古屋市立大学との連携協力に関する覚書

9 高校生科学力向上促進事業

(1) 高校生燃料電池自動車プロジェクト（平成29年度～30年度）

公募で選ばれた高校生が、大学のセミナー、企業による研修などに参加しながら、科学の学習を深め、高校生自ら設計した一人乗り小型自動車に燃料電池を搭載し、走行実験を行う。併せて、水素エネルギーに関する発展的な学習を通して、次世代の地域の産業を支える人材を育成する。

- 主催：名古屋市科学館、公益財団法人中部科学技術センター
 - 共催：名古屋工業大学次世代自動車工学教育研究センター、中日新聞社
 - 参加校 名古屋市立菊里高等学校、名古屋市立向陽高等学校、名古屋市立桜台高等学校、愛知県立旭丘高等学校 14人
- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 7月 16日(日)～17日(月) | 実験セミナー13人 |
| 7月 25日(火)～27日(木) | 調査研修（九州工業大学他）8人 |
| 8月 8日(火)～9日(水) | 調査研修（山梨大学他）6人 |
| 8月 17日(木)～18日(金) | 3D-CADセミナー（名工大）8人 |
| 10月 1日(土) | 300W燃料電池実験セミナー（科学館）9人 |
| 12月 9日(土)～10日(日) | モーター製作セミナー（CQ出版）2人 |
| 12月 26日(火)、1月 27日(土) | モーター実験セミナー（名工大）10人 |
| 3月 18日(日) | 研究発表会（科学館）13人 |

(2) 高校生による科学の祭典2017

名古屋市内の公立高等学校の高校生たちが日ごろの研究成果を持ち寄り、来館者に発表した。

(8校13テーマ)。

日 時：1月21日(日)

場 所：イベントホール

参加者：243人

10 その他

(1) B6型蒸気機関車の動態展示に向けて車両を保管

B6型蒸気機関車の科学館敷地内での動態展示化を目指し、整備手法等を検討する間、車両を保管した。

(2) ロボカップ2017名古屋世界大会関連事業

特別展「ロボットってなんだろう？」を開催するとともに、ロボカップジュニアの競技参加者を招待した。また、「ロボカップ2017名古屋世界大会親子見学ツアー（ブラザー工業株式会社特別協賛）」を受け入れ、プラネタリウム鑑賞と特別展見学を行った。

(3) ノーベル賞受賞者顕彰施設基本計画の策定

愛知・名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者の業績などを分かりやすく伝える施設の整備に向けた調査を愛知県と共同で実施し、「ノーベル賞受賞者顕彰施設 基本計画」を策定した。

1 1 研修・講座等

- 名古屋市立大学特別講座
期 日 4月28日(金) 参加人数 53人
講 師 野田学
会 場 プラネタリウム、天文台
- 名古屋市理科学研究会(講演会)
期 日 5月7日(土) 参加人数 104人
講 師 木戸貴之、岡本茂(名古屋工業大学)
会 場 サイエンスステージ
- 名古屋市理科学研究会(講演会)
期 日 5月16日(火) 参加人数 39人
講 師 西本昌司
会 場 学習室
- 愛知教育大学大学院理科授業研究
期 日 5月31日(水) 参加人数 11人
講 師 鈴木雅夫
会 場 多目的室
- 岐阜聖徳学園大学教育学部理科専修向け地学教育講座
期 日 6月3日(土) 参加人数 30人
講 師 西本昌司
会 場 学習室
- 向陽高校国際学科(名古屋市科学館研修)
期 日 6月14日(水) 参加人数 43人(生徒40、教員3)
講 師 山田吉孝、柏木晴香、馬渕浩一、山田厚輔、毛利勝廣
会 場 学習室、第1実験室、プラネタリウム
- JST さくらサイエンスプラン(名古屋大学)
期 日 6月17日(土) 参加人数 17人
講 師 堀内智子
会 場 展示室、プラネタリウム
- おんたけ休暇村キャンプカウンセラー研修
期 日 6月24日(土) 参加人数 73人
講 師 北原政子
会 場 プラネタリウム
- JST さくらサイエンスプラン(三重大学)
期 日 7月2日(日) 参加人数 10人
講 師 山田厚輔
会 場 展示室、プラネタリウム

- 名城大学博物館学研修
 - 期 日 8月9日(水) 参加者数 42人
 - 講 師 鈴木雅夫
 - 会 場 多目的室
- 名古屋市小中学校生産・文化的部活動指導者研修会「科学」の部
 - 期 日 8月25日(金) 参加人数 37人
 - 講 師 山田厚輔
 - 会 場 学習室
- 東海中学特別講座
 - 期 日 9月13日(水) 参加人数 367人
 - 講 師 小塩哲朗・野田学
 - 会 場 サイエンスホール・プラネタリウム
- 稲沢東高校S P P (サイエンス・パートナーシップ・プログラム)
 - 期 日 10月27日(金) 参加人数 24人(生徒21、教員3)
 - 講 師 小塩哲朗 山田吉孝 毛利勝廣
 - 会 場 第1実験室、展示室、プラネタリウム
- 愛知学泉大学博物館学経営論講座
 - 期 日 10月31日(火) 参加者数 22人
 - 講 師 鈴木雅夫
 - 会 場 多目的室
- 向陽高校普通科(名古屋市科学館研修)
 - 期 日 11月9日(火) 参加人数 333人
 - 講 師 西本昌司、小林修二
 - 会 場 サイエンスホール、プラネタリウム
- 中京大学博物館学
 - 期 日 11月18日(土) 参加人数 28人
 - 講 師 鈴木雅夫
 - 会 場 多目的室
- 名古屋芸術大学学芸員養成課程施設見学
 - 期 日 11月18日(土) 参加人数 18人
 - 講 師 鈴木雅夫
 - 会 場 多目的室
- 愛知県高等学校文化連盟 自然科学専門部 講習会〈名古屋市科学館 昼の観望会〉
 - 期 日 11月19日(土) 参加人数 50人(生徒37、教員13)
 - 講 師 小林修二
 - 会 場 学習室、プラネタリウム、天文台
- 放送大学大学院自然環境科学講座
 - 期 日 11月25日(土) 参加人数 23人
 - 講 師 西本昌司
 - 会 場 学習室

- **金城学院中学特別講座**
 - 期 日 1月11日(木) 参加人数 334人
 - 講 師 小林修二
 - 会 場 プラネタリウム、天文台
- **愛知県高等学校文化連盟 自然科学専門部 研究発表会**
 - 期 日 2月4日(日) 参加人数 344人
 - 会 場 サイエンスホール
- **愛知教育大学附属高等学校研修**
 - 期 日 3月2日(金) 参加人数 211人
 - 講 師 西本昌司、柏木晴香、中島亜紗美
 - 会 場 サイエンスホール、プラネタリウム
- **新モンゴル工科大学、名古屋工業大学国際交流事業**
 - 期 日 3月8日(木) 参加人数 14人
 - 講 師 鈴木雅夫
 - 会 場 多目的室

1 2 情報収集保存活動

(1) 情報資料室

科学に関する最新の資料の収集に努め、来館者の自発的な学習を支援するため、図書・雑誌・コンピュータソフト・映像資料などの資料を室内自由閲覧・自由使用に供した。

情報資料室データ

備 品	ソ フ ト	図 書 類
パソコン 6 台	ビデオソフト 1,124 本	図書 約 7,870 冊
インターネット用(5 台)	VHS (877 本)	雑誌 22 種
事務・調査用 (1 台)	DVD (247 本)	月刊誌 (10 種)
ビデオデッキ 4 台	CD-ROM 218 本	研究機関誌 (12 種)
VHS再生専用 (2 台)		新聞 1 紙
DVD・VHS複合機 (2 台)		全国科学館・博物館等資料 2,910 冊

(2) インターネット

名古屋市科学館では、平成7年度から館内コンピュータネットワークの整備と、そのインターネットへの接続を行い、各種情報の取得などに利用している。また同時に当館ウェブサイト (<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>) の公開も開始した。

平成23年3月19日の新館開館にあわせて、ウェブサイトの全面的な更新を行った。また、各フロア1台、計10台の情報検索端末を導入した。これらはタッチパネルのみで操作でき、日本語及び英語による展示解説の閲覧や展示品の検索ができる。また、ブラウザ機能を利用しているので当館ウェブページやその他のサイトの閲覧も可能である。

ウェブサイトアクセス件数と、情報検索端末アクセス件数は下表のとおりである。

(平成28年度)

月	ウェブサイト アクセス件数	情報検索端末 アクセス件数	月	ウェブサイト アクセス件数	情報検索端末 アクセス件数
4	320,057	3,951	10	313,496	3,975
5	355,193	4,700	11	280,776	3,379
6	321,144	2,850	12	284,192	3,173
7	375,826	4,445	1	345,104	3,705
8	499,792	7,749	2	298,018	3,555
9	332,322	2,904	3	359,568	4,081
			計	4,085,488	48,467

13 平成29年度入館者状況

(1) 月別利用状況 (個人・団体別)

(単位:人)

	入館人員	営業日数	1日平均	個人				団体※						
				大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計	市内	市外	電子申請
4月	100,499	25	4,020	56,536	3,345	33,845	93,726	2,273	458	4,042	6,773	1,413	3,874	1,486
5月	123,645	25	4,946	67,700	3,834	36,513	108,047	3,499	687	11,412	15,598	6,169	7,807	1,622
6月	68,209	25	2,728	34,444	2,613	11,724	48,781	4,611	678	14,139	19,428	11,297	7,122	1,009
7月	106,705	25	4,268	59,035	3,495	29,340	91,870	4,911	450	9,474	14,835	6,111	6,022	2,702
8月	193,058	28	6,895	104,532	8,005	66,693	179,230	6,541	390	6,897	13,828	3,240	4,893	5,695
9月	79,364	23	3,451	44,429	5,470	17,922	67,821	3,647	552	7,344	11,543	4,647	5,413	1,483
10月	85,137	25	3,405	41,849	3,364	17,869	63,082	3,975	179	17,901	22,055	9,141	11,204	1,710
11月	88,030	25	3,521	42,745	3,320	23,107	69,172	4,270	1,049	13,539	18,858	8,513	8,925	1,420
12月	73,372	23	3,190	38,969	4,296	19,041	62,306	2,324	864	7,878	11,066	6,544	2,910	1,612
1月	93,046	23	4,045	45,871	3,447	28,423	77,741	1,922	53	13,330	15,305	12,348	1,666	1,291
2月	96,594	23	4,200	49,606	5,619	26,535	81,760	2,686	715	11,433	14,834	8,105	5,445	1,284
3月	111,757	26	4,298	63,404	11,442	26,827	101,673	2,912	617	6,555	10,084	3,374	5,034	1,676
計	1,219,416	296	4,120	649,120	58,250	337,839	1,045,209	43,571	6,692	123,944	174,207	80,902	70,315	22,990
構成比 (%)	上段 個人・団体別			62%	6%	32%	100%	25%	4%	71%	100%	46%	40%	14%
	下段 全体での割合			53%	5%	28%	86%	4%	1%	10%	14%	6%	6%	2%

※団体には電子申請を含む

(2) 入館者月別利用状況 (利用種別)

(単位:人)

	展示室とプラネタリウム				展示室				合計				当月のプラネの割合	プラネの開館以来の累計
	大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計		
4月	22,423	2,376	8,287	33,086	36,386	1,427	29,600	67,413	58,809	3,803	37,887	100,499	33%	18,875,097
5月	25,739	2,542	12,699	40,980	45,460	1,979	35,226	82,665	71,199	4,521	47,925	123,645	33%	18,916,077
6月	23,317	2,383	14,200	39,900	15,738	908	11,663	28,309	39,055	3,291	25,863	68,209	58%	18,955,977
7月	27,928	2,316	14,747	44,991	36,018	1,629	24,067	61,714	63,946	3,945	38,814	106,705	42%	19,000,968
8月	32,492	3,881	19,508	55,881	78,581	4,514	54,082	137,177	111,073	8,395	73,590	193,058	29%	19,056,849
9月	23,263	3,721	9,425	36,409	24,813	2,301	15,841	42,955	48,076	6,022	25,266	79,364	46%	19,093,258
10月	23,504	2,349	15,839	41,692	22,320	1,194	19,931	43,445	45,824	3,543	35,770	85,137	49%	19,134,950
11月	23,462	2,797	13,438	39,697	23,553	1,572	23,208	48,333	47,015	4,369	36,646	88,030	45%	19,174,647
12月	20,654	3,431	11,306	35,391	20,639	1,729	15,613	37,981	41,293	5,160	26,919	73,372	48%	19,210,038
1月	20,677	2,253	14,932	37,862	27,116	1,247	26,821	55,184	47,793	3,500	41,753	93,046	41%	19,247,900
2月	20,471	3,866	13,274	37,611	31,821	2,468	24,694	58,983	52,292	6,334	37,968	96,594	39%	19,285,511
3月	23,419	6,204	11,687	41,310	42,897	5,855	21,695	70,447	66,316	12,059	33,382	111,757	37%	19,326,821
計	287,349	38,119	159,342	484,810	405,342	26,823	302,441	734,606	692,691	64,942	461,783	1,219,416	40%	
構成比	24%	3%	13%	40%	33%	2%	25%	60%	57%	5%	38%	100%		

(3) 団体地域別入館者数

(単位:人)

区分		件数	人数	人員百分率(%)	区分		件数	人数	人員百分率(%)
地域	地域								
東海	市内	1,466	80,902	53.50%	四国	徳島	0	0	0.00%
	愛知	648	37,707	24.94%		香川	2	91	0.06%
	岐阜	127	6,204	4.10%		愛媛	0	0	0.00%
	三重	174	9,293	6.15%		高知	1	20	0.01%
	静岡	60	2,630	1.74%		小計	3	111	0.07%
	小計	2,475	136,736	90.42%		九州	福岡	2	40
北陸	福井	21	674	0.45%	長崎		1	104	0.07%
	石川	12	396	0.26%	佐賀		0	0	0.00%
	富山	7	165	0.11%	熊本		1	35	0.02%
	小計	40	1,235	0.82%	大分		0	0	0.00%
甲信越	新潟	2	64	0.04%	宮崎		0	0	0.00%
	長野	40	1,936	1.28%	鹿児島	1	10	0.01%	
	山梨	3	79	0.05%	小計	5	189	0.12%	
	小計	45	2,079	1.37%	東北	青森	0	0	0.00%
関東	東京	7	606	0.40%		岩手	2	45	0.03%
	神奈川	7	144	0.10%		宮城	0	0	0.00%
	千葉	3	114	0.08%		秋田	0	0	0.00%
	埼玉	1	30	0.02%		山形	1	22	0.01%
	群馬	1	34	0.02%		福島	1	30	0.02%
	栃木	0	0	0.00%		小計	4	97	0.06%
	茨城	0	0	0.00%		北海道・ 沖縄地 区	北海道	0	0
	小計	19	928	0.61%	沖縄		0	0	0.00%
小計	0	0	0.00%						
近畿	滋賀	52	2,640	1.75%	外国	中国	14	382	0.25%
	京都	69	4,232	2.80%		韓国	4	152	0.10%
	大阪	30	1,156	0.76%		香港	3	118	0.08%
	奈良	3	215	0.14%		台湾	3	85	0.06%
	和歌山	8	200	0.13%		タイ	1	19	0.01%
	兵庫	11	539	0.36%		エチオピア	1	16	0.01%
	小計	173	8,982	5.94%		小計	26	772	0.51%
中国	鳥取	0	0	0.00%	合計	2,795	151,217	100%	
	島根	2	43	0.03%					
	岡山	1	7	0.00%					
	広島	2	38	0.03%					
	山口	0	0	0.00%					
小計	5	88	0.06%	※電子申請を含まない					

年度	入館者数	内アラネ列ウム入館者数	営業日数(日)	一日平均	個				人				団				体			
					大人	小学生以下	中学生	高校生	大人	小学生以下	中学生	高校生	大人	小学生以下	中学生	高校生	市外	市内	市外	市内
4	709,590	365,808	295	2,405	345,654	—	—	—	21,890	—	—	—	121,392	143,282	71,870	71,412				
5	676,276	339,482	290	2,332	334,791	—	—	—	18,980	—	—	—	118,531	137,511	72,245	65,266				
6	684,841	310,854	273	2,509	286,342	—	—	—	30,327	—	—	—	90,986	121,313	80,964	40,349				
7	733,520	309,803	297	2,470	342,987	—	—	—	15,254	—	—	—	99,728	114,982	58,901	56,081				
8	680,538	290,105	295	2,307	288,377	—	—	—	12,090	—	—	—	94,998	107,088	58,336	48,752				
9	610,342	265,050	296	2,062	244,626	—	—	—	12,218	—	—	—	94,125	106,343	61,823	44,520				
10	711,416	287,398	295	2,412	298,300	—	—	—	13,749	—	—	—	95,942	109,691	65,938	43,753				
11	724,128	259,983	297	2,438	321,340	—	—	—	10,796	—	—	—	93,620	104,416	66,764	37,652				
12	544,530	248,740	296	1,840	209,759	—	—	—	10,041	—	—	—	86,558	96,599	71,320	25,279				
13	550,524	250,887	296	1,860	205,585	—	—	—	11,549	—	—	—	85,433	96,982	70,942	26,040				
40年累計	20,709,096	13,481,673	11,780	1,758	7,250,260	611,103	6,222,183	14,083,546	840,089	528,741	5,256,720	6,625,550	3,051,766	3,117,210						
14	675,170	232,297	295	2,289	291,794	—	—	—	9,053	—	—	—	58,932	67,985	43,293	24,692				
15	624,325	250,311	297	2,102	247,780	—	—	—	10,892	—	—	—	69,279	80,171	52,497	27,674				
16	615,425	226,473	296	2,079	236,606	—	—	—	8,290	—	—	—	64,288	72,578	51,462	21,116				
17	486,104	231,470	296	1,642	196,483	—	—	—	8,042	—	—	—	63,746	71,788	50,371	21,417				
年度	入館者数	内アラネ列ウム入館者数	営業日数	一日平均	大人	小学生以下	中学生	高校生	大人	小学生以下	中学生	高校生	市外	市内	市外	市内				
18	614,577	261,510	296	2,076	248,508	12,480	—	—	8,776	2,756	—	—	71,544	83,076	53,611	29,465				
19	618,956	250,848	296	2,091	238,472	10,819	—	—	7,461	2,240	—	—	69,254	78,955	51,378	27,577				
20	607,864	252,363	296	2,054	239,432	12,520	—	—	7,627	2,213	—	—	67,651	77,491	50,933	26,558				
21	606,157	261,073	295	2,055	236,005	13,274	—	—	6,736	2,335	—	—	66,322	75,393	51,386	24,007				
22	481,957	181,837	162	2,975	205,740	12,142	—	—	4,838	1,532	—	—	47,168	53,538	43,911	9,627				
年度	入館者数	内アラネ列ウム入館者数	営業日数	一日平均	大人	小学生以下	中学生	高校生	大人	小学生以下	中学生	高校生	市外	市内	市外	市内				
23	1,531,854	589,595	297	5,158	862,732	102,687	—	—	72,648	10,128	—	—	144,506	227,282	97,772	118,936				
50年累計	27,571,485	16,219,450	14,606	1,888	10,253,812	163,922	611,103	9,028,841	984,452	21,204	528,741	7,513,807	3,448,279	10,574	10,574					
24	1,303,372	564,471	296	4,403	715,968	56,793	—	—	82,152	10,887	—	—	139,703	232,742	106,155	107,518				
25	1,436,926	541,255	295	4,871	806,440	71,266	—	—	68,908	9,609	—	—	136,689	215,206	94,216	99,472				
26	1,394,003	522,904	296	4,709	786,788	69,898	—	—	54,685	9,201	—	—	132,729	196,615	85,738	90,429				
27	1,382,275	482,431	295	4,686	782,035	70,735	—	—	44,623	8,705	—	—	122,478	175,806	78,779	83,189				
28	1,379,296	511,500	296	4,660	753,314	84,098	—	—	45,336	7,974	—	—	126,722	180,032	66,544	88,916				
29	1,219,416	484,810	296	4,120	649,120	58,250	—	—	43,571	6,692	—	—	123,944	174,207	80,902	70,315				
総計	35,686,773	19,326,821	16,380	2,179	14,747,477	574,962	611,103	11,064,816	1,323,727	74,272	528,741	8,688,415	4,110,714	3,988,118	122,435					

2 常設展示品（平成30年3月31日現在）

〔展示品数231点（理工館131点・天文館37点・生命館47点・大型展示4点・屋外展示9点・その他3点）〕

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
不思議のひろば 理工館2階 (34点)	ひかりのふしぎ	さんしょくのかげ	総合その他	平22	市
		かげえあそび	総合その他	平22	市
		ひかりのおえかき	総合その他	平22	市
		もじゃもじゃかがみ	総合その他	平22	市
		つかめない?	総合その他	平22	市
		ほんたいかがみ	総合その他	平22	市
		あくしゅかがみ	総合その他	平22	市
		へんしんかがみ	総合その他	平22	市
		おっかけかがみ	総合その他	平22	市
	すきとおるかがみ	総合その他	平22	市	
	うごきとかたちのふしぎ	ボールコースター	総合その他	平22	市
		うきでるかたち	総合その他	平22	市
		ふりこのすなもよう	総合その他	平22	市
		おどるすなもよう	総合その他	平22	市
		うかぶボール	総合その他	平22	市
		すいつくボール	総合その他	平22	市
	おとのふしぎ	おちにくいかたち	総合その他	平22	市
		ふしぎなおとのもり	総合その他	平22	市
		こだまパイプ	総合その他	平22	市
	かんかくのふしぎ	パラボラ	総合その他	平22	市
		いろいろなさっかく	総合その他	平22	市
		すべすべのて	総合その他	平22	市
		さっかくのへや	総合その他	平22	市
		ふしぎなりったい	総合その他	平22	市
	なつかしのてんじ	ふしぎなえんぱん	総合その他	平22	市
		きえるからだ	総合その他	平22	市
		あなたもさつきよくか	総合その他	平3	市
		NKSじしゃく	総合その他	昭49	寄贈
	あそびのひろば	たこのダンス	総合その他	昭39	市
		イライラぼう	総合その他	平5	市
Go Go! しょうぼうしゃ		総合その他	平13	出品	
だまし絵サーカス		総合その他	平29	市	
技術のひろがり 理工館3階 (20点)	街ではたらく機械	じゅんすいッチ	総合その他	平28	市
		ウッディ・プレイランド	総合その他	平22	市
		モノづくり都市パノラマ	交通・機械	平22	市・寄
		電車	交通・機械	平22	市
		クレーン	交通・機械	平22	市
		大型船	交通・機械	平22	市
	機械の素	飛行機	交通・機械	平22	市
		ロボット	交通・機械	平22	市・寄
		歯車	交通・機械	平1	市
		滑車	交通・機械	平22	市
		てこ	交通・機械	平22	市
	部品・製品をつくる	ねじ	交通・機械	平22	市
		ベルトプリー	交通・機械	平22	市
		けずる	交通・機械	平22	市
	身近な機械	プレス	交通・機械	平22	市
		溶接	交通・機械	平22	市
		鋳物・射出成形	交通・機械	平22	市・寄
		ミシン	交通・機械	平22	市・寄
		自動販売機	交通・機械	平22	市・寄
		掃除機	交通・機械	平22	市・寄
	実験のアトリエ	時計	交通・機械	平22	市・寄
		くらしの中の電子機器	交通・機械	平22	市・寄
		水の波を見る	エネルギー・物理	平22	市
		縦波と横波	エネルギー・物理	平22	市
		電磁波	エネルギー・物理	平22	市・寄
		声の振動を見る	エネルギー・物理	平22	市
		音の波を見る	エネルギー・物理	平22	市
	音のフレネルレンズ	エネルギー・物理	平22	市	
	ボールの色選び	エネルギー・物理	平22	市	
	偏光	エネルギー・物理	平22	市	

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
科学原理との ふれあい 理工館4階 (31点)	実験のアトリエ	屈折	エネルギー・物理	平22	市
		振動する磁界	エネルギー・物理	平22	市
		磁性流体	エネルギー・物理	平22	市
		電磁石	エネルギー・物理	平22	市
		トムソンリング	エネルギー・物理	平22	市
		磁界のかたち	エネルギー・物理	平22	市
		モーター	エネルギー・物理	平22	市
		落ちにくい円盤	エネルギー・物理	平22	市
		モンキーハンティング	エネルギー・物理	平22	市
		加速度と距離	エネルギー・物理	平22	市
		回る水槽	エネルギー・物理	平22	市
		モーメント	エネルギー・物理	平22	市
		転がる円盤	エネルギー・物理	平22	市
	パラボラの反射	数学・情報	平22	市	
	数学	自然を数字で表す	数学・情報	平22	市
		公式と図形	数学・情報	平22	市
		物理現象に見る数学	数学・情報	平22	市
		自然現象に見る数学	数学・情報	平22	市
	情報科学	直線がつくる曲面	数学・情報	平22	市
		情報科学とは	数学・情報	平22	市
二進法のしくみ		数学・情報	平22	市	
文字のコード化		数学・情報	平22	市	
		デジタル画像	数学・情報	平22	市
物質・エネルギーの せかい 理工館5階 (32点)	材料大集合	身の回りの材料大図解	物質	平22	市・寄
		重さくらべ	物質	平22	市・寄
		自転車の重さくらべ	物質	平22	市
		金属疲労	物質	平22	市
		熱伝導	物質	平22	市
		電気伝導	物質	平22	市
		弾み方	物質	平22	市
		板ばねの力くらべ	物質	平22	市
		形状記憶合金	物質	平22	市・寄
		液晶	物質	平22	市
		超はっ水と超親水	物質	平22	市・寄
		香料	物質	平22	市・寄
		熱や光で色変化	物質	平22	市・寄
		セラミックスのセンサ	物質	平22	市
		半導体	物質	平22	市
		セラミックス	物質	平22	市・寄
	金属	物質	平22	市・寄	
	有機材料	物質	平22	市	
	原子・分子の世界	微小な世界へ	物質	平22	市
		原子の誕生	物質	平22	市
		元素周期表	物質	平22	市
		炎色反応	物質	平22	寄贈
		蛍光	物質	平22	市
		動き回る分子-ブラウン運動-	物質	平22	市
		さまざまな分子と化学結合	物質	平22	市
		水分子	物質	平22	市
	炭素	物質	平22	市	
	エネルギー	エネルギーとは	エネルギー・物理	平22	市
		世界のエネルギー事情	エネルギー・物理	平22	市
		わたしたちの主なエネルギー源	エネルギー・物理	平22	出品
		エネルギーで成り立っているわたしたちの暮らし	エネルギー・物理	平22	市
		エネルギーQ&A	エネルギー・物理	平22	市
	最新科学とのであい 理工館6階 (14点)	地球を知る	新たな世界への挑戦	環境	平22
気候変動を探る			環境	平22	市
二酸化炭素地中貯留実験			環境	平22	市
宇宙へ挑む		太陽を観測する～太陽望遠鏡～	天文・宇宙	平22	市
		宇宙へ到達する～H-II Bロケット～	天文・宇宙	平22	市・出

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考	
最新科学とのであい 理工館6階 (14点)	宇宙へ挑む	宇宙から地球を解き明かす-地球観測衛星のまなざし-	天文・宇宙	平22	市	
		宇宙環境を利用する～「きぼう」日本実験棟～	天文・宇宙	平22	市・出	
	地下へ挑む	地圏	環境	平22	市	
		地下へ到達する-地球深部探査船「ちきゅう」-	環境	平22	市	
		地下から地球を解き明かす-ボーリングコア-	環境	平22	市・出	
		地下から地球を解き明かす-地震観測網-	環境	平22	市	
	話題の科学	地下環境を利用する-ジオプロジェクト-	環境	平22	市	
		話題の科学1	総合その他	平22	市	
			話題の科学2	総合その他	平22	市
	宇宙のすがた 天文館5階 (37点)	天文学のあゆみ	古代人の宇宙	天文・宇宙	平22	市
天動説から地動説へ			天文・宇宙	平22	市	
江戸時代の天文学			天文・宇宙	平22	市	
光学望遠鏡のしくみ			天文・宇宙	平22	市	
望遠鏡をのぞいてみよう			天文・宇宙	平22	市	
65cm望遠鏡			天文・宇宙	平22	市	
望遠鏡の大きさくらべ			天文・宇宙	平22	市	
さまざまな波長			天文・宇宙	平22	市	
分光観測とスペクトル			天文・宇宙	平22	市	
電波天文学			天文・宇宙	平22	市	
赤外線天文学			天文・宇宙	平22	出品	
X線天文学			天文・宇宙	平22	出品	
市街光と星空			天文・宇宙	平17	市	
星のまたたき			天文・宇宙	平22	市	
宇宙線をみる		天文・宇宙	昭52	市		
宇宙のひろがり		パワーズオブテン	天文・宇宙	平22	市	
		太陽系	天文・宇宙	平22	市	
		月の満ち欠け	天文・宇宙	平22	市	
		月への挑戦	天文・宇宙	平22	市	
		惑星の動きと万有引力	天文・宇宙	昭45	市	
		惑星探査	天文・宇宙	平22	市	
		宇宙を探る	天文・宇宙	平22	市	
		宇宙を測る	天文・宇宙	平22	市	
		ニュートリノ	天文・宇宙	平22	市	
		星座を形づくる星々	天文・宇宙	平22	市	
		星の世界	天文・宇宙	平22	市	
		銀河の世界	天文・宇宙	平22	市	
銀河系と天の川		天文・宇宙	平22	市		
宇宙の果て		天文・宇宙	平22	市		
プラネタリウムの歴史		プラネタリウムの歴史	天文・宇宙	平22	市	
		アイジンジャー・プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市	
		ピンホール式プラネタリウム	天文・宇宙	平22	寄贈市	
		ツアイスIV型プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市	
		ファイバー式プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市	
		デジタルタイムカプセル	天文・宇宙	平22	市	
星座早見盤		天文・宇宙	平22	市		
デジタル式プラネタリウム		天文・宇宙	平29	寄贈		
地球のすがた 生命館2階 (14点)		地球環境変化の歴史	地球環境変化の歴史	環境	平10	市
		過去の地球を探る	過去の地球を探る	環境	平8	寄贈
			地層探検ゲーム	環境	平13	寄贈
	マップサウルス		環境	平21	市	
	地球のデザイン	地球を知る手がかり	環境	平28	市	
		水の流れがつくる模様	環境	平10	市	
		対流がつくる模様	環境	平10	市	
		飛び出す雲のリング	環境	平10	市	
		夕焼けをつくろう	環境	平10	市	
		虹をつくろう	環境	平10	市	
		地震実験装置	環境	平10	市	
	地球環境ゲーム	環境	平15	市		
	発見処	発見処	総合その他	平13	市	
		地球工房	総合その他	平16	市	

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考	
生活のわざ 生命館3階 (11点)	食のめぐみ	あなたの食事診断	生活	平12	市	
		サイクルでサイクル	生活	平13	市	
	家と都市	家のつくり	生活	平13	市	
		リサイクルガーデン	生活	平13	市	
		都市の地下	生活	平13	市	
		都市の防災	生活	平13	市	
	くらしと地球	世界のくらし	生活	昭63	市	
		くらしとお天気	生活	平11	市	
		環境とくらし	生活	平13	市	
		都市気候観測ステーション	生活	平13	市	
	人体のふしぎ 生命館4階 (12点)	うごかす・ささえる	筋肉のふしぎ/骨のふしぎ	生命	平28	市
			顔の筋肉と骨を見てみよう	生命	平29	市
筋肉を動かしてみよう			生命	平29	市	
骨パズル			生命	平29	市	
つたえる・かんがえる・ちょうせつする		神経系・内分泌系のふしぎ	生命	平28	市	
はこぶ・めぐる		呼吸・循環のふしぎ	生命	平28	市	
		自分の血管を見てみよう	生命	平29	市	
とりこむ・すてる		自分の心臓の動きを感じてみよう	生命	平29	市	
		消化・吸収・排出のふしぎ	生命	平28	市	
		食べ物はどこへゆく?	生命	平28	市	
		消化器ギャラリー	生命	平28	市	
生命のひみつ 生命館5階 (10点)		生きものラボ	ワンダーゲノム	生命	平23	市
	生命ラボ		生命	平23	市	
	生きものギャラリー		生命	平23	市	
	遺伝子ミニラボ		生命	平23	市	
	細胞	細胞共和国	生命	平24	市	
		細胞ラボ	生命	平24	市	
	DNA	DNAってなんだろう?	生命	平25	市	
		チャレンジ!DNA	生命	平25	市	
くらしと バイオテクノロジー	バイオのめぐみ	生命	平26	市		
	バイオの森	生命	平26	市		

大型展示 (4点)

水のひろば 理工館2・3階	くものステージ	さかのぼるあめ	総合その他	平22	市・寄
		みずのプリズム			
		くものつぶとあめのつぶ			
	あめのステージ	ころがるすいてき			
		あまつぶのかたち			
	かわのステージ	ながれとうず			
		みずのシーソー			
		いろいろなすいしゃ			
	うみのステージ	うずをつくる			
		アルキメデスのポンプ			
		おうふくポンプ			
		かいてんポンプ			
かいてんぐるま					
ながれあそび					
みずでっぼう					
ジャンボしゃぼんまく					
りったいしゃぼんまく					
竜巻ラボ理工館3・4階	竜巻ラボ	竜巻ラボ	環境	平22	市
		ポコポコタンク			
放電ラボ理工館4・5階	放電ラボ	放電ラボ	エネルギー・物理	平22	市
極寒ラボ理工館5階	極寒ラボ	極寒ラボ	環境	平22	市・寄

その他

エントランスホール 理工館1階	エントランス展示	LE-7エンジン	天文・宇宙	平6	出・寄
		建物の環境配慮設備	環境	平22	市
休憩室生命館1階	フーコーの振り子	フーコーの振り子	天文・宇宙	平22	市

屋外

屋外展示 (9点)	屋外展示	B6型蒸気機関車	交通・機械	昭43	寄贈
		市電1400型ボギー車	交通・機械	昭49	寄贈
		H-II Bロケット	天文・宇宙	平23	寄贈
		日本実験棟「きぼう」	天文・宇宙	平23	寄贈
		南極観測用雪上車SM50S型522号車	環境	平29	出品
		ニュートンのりんごの木	エネルギー・物理	平22	寄贈
		フランス水車	エネルギー・物理	昭43	出品
		無人探査機 ドルフィン3K	環境	平16	出品
風力発電装置	エネルギー・物理	平16	寄贈		

分類別集計	天文・宇宙	45
	物質	27
	数学・情報	10
	エネルギー・物理	30
	交通・機械	22
	生命	22
	環境	25
	生活	11
	総合その他	39
	合計	231

備考欄集計	市	189	82%
	市・寄	19	8%
	市・出	3	1%
	寄贈	12	5%
	出品	7	3%
	出・寄	1	0%
	合計	231	100%

建物集計	理2	34	
	理3	20	
	理4	31	
	理5	32	
	理6	14	131
	天5	37	37
	生2	14	
	生3	11	
	生4	12	
	生5	10	47
	大型	4	4
	その他	3	3
	屋外	9	9
	合計		231

3 年度別決算

※職員給与は市役所費用にて一括計上のため除く

年度	経常費歳出			歳入決算 (観覧料)	総入場者 数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
	千円	千円	千円	千円	人	千円	千円
昭和36	—	989	989	—		※	建設費 194,900
37	1,440	13,758	15,198	6,790	111,023	※ 37.11.1 第一期工事(天文館)完成	建設費 245,991
38	720	22,470	23,190	12,537	212,047	※ 38.6.29 第二期工事(理工館)着工	建設費 200,000
39	27,569	38,513	66,082	22,523	325,001	39.10.30 第二期工事(理工館)完成	建設費 407,149
40	33,648	53,904	87,552	27,296	366,296		
41	36,936	58,427	95,363	27,259	375,720		
42	39,914	65,038	104,952	26,564	379,220		
43	45,075	66,429	111,504	30,839	431,740	スカイラインプロジェクタ設置	
44	51,485	73,946	125,431	33,525	453,398	プラネタリウム椅子取替え	
45	58,161	77,139	135,300	32,700	445,817	プラネタリウムドーム内天井塗装	
46	69,792	89,231	159,023	34,455	470,288		
47	74,893	101,326	176,219	33,049	464,848		
48	86,034	98,959	184,993	36,261	497,966		
49	106,543	111,006	217,549	36,988	510,016		
50	148,972	164,077	313,049	40,768	553,795	S C R 調光器取替	
51	161,180	387,779	548,959	52,046	495,551		空調熱源取替 214,000
52	160,845	196,793	357,638	51,705	501,747		
53	182,537	212,063	394,600	53,053	519,689		
54	190,001	216,492	406,493	53,066	515,791		
55	198,134	223,249	421,383	55,110	593,571		
56	203,376	254,889	458,265	51,071	477,384		エレベータ取替 49,000
57	217,504	274,420	491,924	50,913	476,272		エレベータ取替 49,500
58	223,636	289,283	512,919	43,480	418,701		プラネタリウム室改修 103,000
59	229,019	288,658	517,677	69,432	452,249		天文館改修 220,000 生命館基本設計 7,000 望遠鏡設置 75,000
60	242,433	280,497	522,930	76,532	499,750		生命館実施設計 70,000
61	264,216	288,563	552,779	71,012	421,309		生命館建設(初年度分) 895,950
62	277,742	292,205	569,947	78,464	571,611		生命館建設(第2年度分) 552,200 科学館の改修(初年度分) 249,600
63	291,979	315,957	607,936	65,317	440,089		生命館建設(最終年度分) 2,415,770 科学館の改修(最終年度分) 998,400 プラネタリウムの施設整備 87,796 発券改札業務の機械化 93,090

(次ページへ続く)

年度	経常費歳出			歳入決算 (観覧料)	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
平成 元	千円	千円	千円	千円	人	千円	千円
	311,870	611,743	923,613	113,723	636,758	生命館開館式典費 4,720	
2	324,977	593,417	918,394	130,943	738,855		
3	354,803	728,085	1,082,888	117,673	726,889	プラネタリウムオーバーホール 22,000 ハイビジョン 映像情報コーナー設置 97,000	
4	365,527	572,743	938,270	116,924	709,590	開館30周年記念式典	
5	373,281	609,427	982,708	107,887	676,276		
6	381,162	623,955	1,005,117	88,693	684,841		理工館冷温水発生機等整備 107,000 電源設備等復旧 328,600
7	386,952	703,174	1,090,126	106,252	733,520	プラネタリウム 新演出システム導入 64,200 福祉環境整備 42,800	天文館用熱源機器取替等整備 107,000
8	381,840	525,817	907,657	84,657	680,538	自動改札システム更新 14,097	天文館空調機取替等整備 42,800 天文館・理工館耐震診断 4,422
9	382,080	562,686	944,766	77,840	610,342	プラネタリウム 調光装置改修 17,640	理工館空調機器取替等整備 109,000
10	388,960	633,179	1,022,139	84,990	711,416	館内情報システム 電気配線工事 8,400	
11	395,080	587,541	982,621	77,413	724,128	ガス管及び水道管布設替 9,000 プラネタリウムオーバーホール 20,000	
12	388,557	548,277	936,834	63,741	544,530	スカイラインプロジェクター システム更新 5,600	
13	349,200	638,055	987,255	65,908	550,524	プラネタリウムスクリーン塗装 15,225	
14	334,800	545,151	879,951	72,087	675,170	プラネタリウム 補聴システム導入 1,597 理工館展示品更新 4,000	
15	323,000	535,052	858,052	69,271	624,325	プラネタリウム音響装置改修 4,000 出前ミュージアム 3,137	
16	297,000	487,413	784,413	62,344	615,425	プラネタリウム電源部改修 10,626 理工館・天文館改築基本構想 4,935	
17	300,832	456,635	757,467	67,213	486,104	愛・地球博記念 ロボットサッカー国際交流 10,000 科学演芸(笹島サテライト) 3,000 理工館・天文館改築基本構想 1,785	
18	321,742	476,335	798,077	68,295	614,577	プラネタリウム映像機器改修 4,798 理工館・天文館改築基本計画 40,971	
19	341,532	391,496	733,028	64,210	618,956		理工館・天文館改築 315,589

(次ページへ続く)

年度	経常費歳出			歳入決算 (観覧料)	総入場者数	概要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
平成 20	千円 335,160	千円 387,104	千円 772,264	千円 66,687	人 607,864	千円	千円
21	326,700	380,855	707,555	73,403	606,157		理工館・天文館改築 288,640 2,421,157
22	319,464	354,918	674,382	57,573	481,957		理工館・天文館改築 12,197,788
23	274,691	601,132	875,823	333,907	1,531,854		屋外展示・外構改築 794,389
24	281,632	618,490	900,122	306,626	1,303,372		
25	289,949	617,573	907,522	277,651	1,436,926		
26	291,291	659,401	950,692	268,148	1,394,003		生命館空調動力盤交換 2,376
27	296,472	623,827	920,299	238,856	1,382,275		プラネリウム機器の更新 151,999 天井等落下防止対策調査 8,030
28	294,690	838,348	1,133,038	240,750	1,379,296		エレベーター改修 918 生涯学習施設の大規模修繕 3,975
29	297,561	649,976	947,537	235,430	1,219,416	ノーベル賞受賞者顕彰施設整備基本計画 7,449	エレベーター改修 79,380 プラネリウム LED 改修 27,994 生涯学習施設の大規模修繕 5,382

(注) 昭和 56 年度以降の人件費については、生涯学習推進費(平成 9 年度までは社会教育総務費)にて一括計上のため按分により算出。

4 展示協力

協力者	展示品名	区分	展示場所
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-IIロケットメインエンジン(LE-7)	展示品出品	理工館1階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-IIロケット(模型)	展示品出品	理工館1階
立命館大学文学部心理学専攻教授 北岡明佳	さっかく	作品提供	理工館2階
明治大学研究・知財戦略機構特任教授 杉原厚吉	さっかく	作品提供	理工館2階
住友特殊金属株式会社	NKSじしゃく	展示品寄贈	理工館2階
名古屋市消防局	GoGo!しょうぼうしゃ	展示品出品	理工館2階
竹田印刷株式会社	ころがるすいてき(超はっ水シート)	物品寄贈	理工館2階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授 高井治	ころがるすいてき	製作協力	理工館2階
名古屋鉄道株式会社	モノづくり都市パノラマ(模型車両)	物品寄贈	理工館3階
日本車輛製造株式会社	電車	画像協力	理工館3階
名古屋市交通局	電車	画像協力	理工館3階
高木 常雄	蒸気機関車C53模型	物品寄贈	理工館3階
	蒸気機関車C64模型	物品寄贈	理工館3階
株式会社竹中工務店	クレーン	製作協力	理工館3階
株式会社新来島豊橋造船	大型船	画像協力	理工館3階
ナカシマプロペラ株式会社	大型船	画像協力	理工館3階
三菱航空機株式会社	飛行機	画像協力	理工館3階
中日本航空専門学校	飛行機	製作協力	理工館3階
株式会社デンソー	ロボット(産業ロボット体験装置)	装置部寄贈	理工館3階
	ものづくり都市パノラマ	画像協力	理工館3階
名古屋市立工業高等学校	けずる、溶接、鋳物・射出成形	製作協力	理工館3階
一般社団法人日本アルミニウム協会	プレス(アルミニウム標本)	物品寄贈	理工館3階
長島鋳物株式会社	鋳物・射出成形(名古屋市型マンホールふた)	物品寄贈	理工館3階
ブラザー工業株式会社	ミシン(ミシンのしくみ体験装置)	装置部寄贈	理工館3階
	ミシン(スケルトンミシン)	装置部寄贈	理工館3階
	くらしの中の電子機器(複合機・モバイルプリンター)	物品寄贈	理工館3階
富士電機リテイルシステムズ株式会社	自動販売機(自動販売機)	装置部寄贈	理工館3階
日立アプライアンス株式会社	掃除機(掃除機)	装置部寄贈	理工館3階
	掃除機(掃除機カットモデル)	物品寄贈	理工館3階
リコーエレメックス株式会社	時計(時計分解図パネル・時計部品)	物品寄贈	理工館3階
なるせ時計	時計	画像協力	理工館3階
株式会社日立製作所 中部支社	くらしの中の電子機器(薄型テレビ)	物品寄贈	理工館3階
パナソニック電工株式会社	くらしの中の電子機器(蛍光灯電球)	物品寄贈	理工館3階
象印マホービン株式会社	くらしの中の電子機器(圧力IH炊飯ジャー)	装置部寄贈	理工館3階
平川明良	竜巻ラボ	音楽協力	理工館3階
株式会社デンソー	電磁波(ミリ波レーダー)	物品寄贈	理工館4階
東京都立高等学校教諭 田原輝夫	音のフレネルレンズ	製作協力	理工館4階
独立行政法人産業技術総合研究所計量標準センター	自然を数字で表す	画像協力	理工館4階
独立行政法人情報通信研究所	自然を数字で表す	画像協力	理工館4階
パナソニック電工株式会社	身の回りの材料大図解(ノートパソコン筐体始め7点)	物品寄贈	理工館5階
大同特殊鋼株式会社	重さくらべ(金属)	装置部寄贈	理工館5階
	形状記憶合金(形状記憶合金)	装置部寄贈	理工館5階
	金属(金属標本)	物品寄贈	理工館5階
株式会社INAX	超はっ水と超親水(超親水タイル)	物品寄贈	理工館5階
竹田印刷株式会社	超はっ水と超親水(超はっ水シート)	物品寄贈	理工館5階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授 高井治	超はっ水と超親水	製作協力	理工館5階
高砂香料工業株式会社	香料(香料)	装置素材寄贈	理工館5階
	炭素	装置素材寄贈	理工館5階
パイロットインキ株式会社	熱や光で色変化(サーモクロミズムシート)	装置部寄贈	理工館5階
信越化学工業株式会社	半導体	物品寄贈	理工館5階

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
日本特殊陶業株式会社	セラミックス (ファインセラミックス標本)	物品寄贈	理工館5階
新日本製鐵株式会社 名古屋製鉄所	金属 (金属標本)	物品寄贈	理工館5階
愛知県鍍金工業組合	金属 (めっき標本)	物品寄贈	理工館5階
一般社団法人日本アルミニウム協会	金属 (アルミニウム標本)	物品寄贈	理工館5階
東邦ガス株式会社	炎色反応	展示品寄贈	理工館5階
中部電力株式会社	わたしたちの主なエネルギー源	装置部出品	理工館5階
石油連盟	エネルギーで成り立っているわたしたちの暮らし	資料寄贈	理工館5階
ミサワホーム株式会社	極寒ラボ (南極の建築部材)	物品寄贈	理工館5階
国立極地研究所	極寒ラボ (防寒具)	物品寄贈	理工館5階
	極寒ラボ (氷)	素材協力	理工館5階
	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
	極寒ラボ (氷)	素材協力	理工館5階
知床斜里町観光協会	極寒ラボ (氷)	素材協力	理工館5階
立山カルデラ博物館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
旭川市科学館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
北海道オホーツク流氷科学センター	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
関西電力株式会社	極寒ラボ (氷)	素材協力	理工館5階
名古屋大学雪氷圏研究グループ	極寒ラボ	画像協力	理工館5階
株式会社テレビ朝日	極寒ラボ	画像協力	理工館5階
西堀栄三郎記念探検の殿堂	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
名古屋海洋博物館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
有限会社キューアールシー	極寒ラボ (昭和基地付近立体地図)	物品寄贈	理工館5階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	宇宙へ到達する (H-II Bロケット試験機の衛星フェアリングの一部)	物品寄贈	理工館6階
	宇宙へ到達する (M-V ノーズフェアリングカットモデル)	物品出品	理工館6階
	宇宙環境を利用する (SFUサーマル・ブランケット)	物品出品	理工館6階
	宇宙へ到達する	画像協力	理工館6階
	宇宙から地球を解き明かす	画像協力	理工館6階
	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館6階
三菱重工業株式会社	宇宙へ到達する	画像協力	理工館6階
川崎重工業株式会社	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館6階
京都大学大学院工学研究科准教授 山田泰広	二酸化炭素地中貯留実験	製作協力	理工館6階
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構	地圏-ジオスフェア	画像協力	理工館6階
	地下環境を利用する	資料寄贈	理工館6階
東北大学理学部地球科学系教授 掛川武	地圏-ジオスフェア	資料寄贈	理工館6階
国立科学博物館	地圏-マントルと核	画像協力	理工館6階
	地下へ到達する	画像協力	理工館6階
独立行政法人海洋研究開発機構	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料出品	理工館6階
独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
独立行政法人日本原子力研究開発機構	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
	地下環境を利用する	画像協力	理工館6階
神奈川県温泉地学研究所	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
DOWAホールディングス株式会社	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
住友金属鉱山株式会社	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
名古屋市見晴台考古資料館	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
国際日本文化研究センター安田研究室	地下から地球を解き明かす (ボーリングコア)	資料寄贈	理工館6階
山田亮一	地下から地球を解き明かす	製作協力	理工館6階
徳島大学 押村美幸	気候変動を探る	画像協力	理工館6階
国立極地研究所	気候変動を探る	画像協力	理工館6階

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
独立行政法人防災科学技術研究所	地下から地球を解き明かす（地震観測網）	データ協力	理工館6階
九州電力株式会社	地下環境を利用する	画像協力	理工館6階
名古屋大学博物館教授 吉田英一	地下環境を利用する	データ協力	理工館6階
一般財団法人日本宝くじ協会	80cm反射望遠鏡	寄贈	理工館7階
山田達夫	江戸時代の天文学	資料寄贈	天文館5階
国立天文台 岡山観測所	分光観測とスペクトル（分光器）	画像協力	天文館5階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	赤外線天文学（「あかり（ASTRO-F）」冷却系プロトモデル）	物品出品	天文館5階
名古屋大学大学院理学研究科宇宙物理学研究室	X線天文学（X線望遠鏡（あすか衛星搭載用スペア）・X線望遠鏡1/4鏡（BBXRT試験モデル））	物品出品	天文館5階
国立天文台 かぐやプロジェクト	月の満ち欠け	データ協力	天文館5階
国立天文台 4D2Uプロジェクト	銀河の世界	データ協力	天文館5階
アイジンジャー・プラネタリウム	アイジンジャー・プラネタリウム	画像協力	天文館5階
金子芳江	ピンホール式プラネタリウム（金子式プラネタリウム始め8点）	物品寄贈	天文館5階
名古屋大学情報文化学部	デジタルタイムカプセル	製作協力	天文館5階
宇宙科学博物館コスモイル羽咋	デジタル式プラネタリウム	物品寄贈	天文館5階
東京工業大学 丸山茂徳	地球環境変化の歴史	資料寄贈	生命館2階
財団法人東海財団	過去の地球を探る	展示品寄贈	生命館2階
つけち創工社	過去の地球を探る	製作協力	生命館2階
名古屋大学年代測定資料センター	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館2階
国立極地研究所	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館2階
信州大学理学部 原山智	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館2階
日本ガイシ株式会社	過冷却水製造装置	物品寄贈	実演用
	水流を曲げる実験装置	物品寄贈	実演用
	雲をつくる装置	物品寄贈	実演用
株式会社アドホック	地層探検ゲーム	展示品寄贈	生命館2階
一般財団法人日本宝くじ協会	家のつくり	展示品寄贈	生命館3階
	リサイクルガーデン	展示品寄贈	生命館3階
	環境とくらし	展示品寄贈	生命館3階
	都市の地下	展示品寄贈	生命館3階
名古屋市立大学 消化器・代謝内科学教室	消化器ギャラリー	画像協力	生命館4階
名古屋大学 森健策研究室	消化器ギャラリー	画像協力	生命館4階
文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究「計算解剖学」、「多元計算解剖学」	消化器ギャラリー	画像協力	生命館4階
大阪大学大学院 安藤英由樹 NTTコミュニケーション科学基礎研究所 渡邊 淳司	自分の心臓の動きを感じてみよう	企画・設計協力	生命館4階
石原産業株式会社	B6型蒸気機関車	展示品寄贈	屋 外
名古屋市交通局	市電1400型ボギー車	展示品寄贈	屋 外
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-IIロケット第1段エンジン部	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット第1段LH2タンク	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット第1段中央部	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット段間部アダプタ	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット強度試験用供試体	物品寄贈	屋 外
三菱重工業／独立行政法人宇宙航空研究開発機構	日本実験棟「きぼう」	物品寄贈	屋 外
東京大学大学院理学系研究科附属植物園（小石川植物園）	ニュートンのりんごの木	展示品寄贈	屋 外
独立行政法人海洋研究開発機構	無人探査機ドルフィン3K	展示品出品	屋 外
名古屋城北ライオンズクラブ	風力発電装置	展示品寄贈	屋 外
公益財団法人中部科学技術センター	フランス水車	展示品出品	屋 外
国立極地研究所	南極観測用雪上車SM50S型522号車	展示品出品	屋 外

5 特別展及び企画展

展覧会名	開催期間	入場者数(人)
時計の今昔展 ～昔の時計、今の時計～	昭38. 6. 1～6. 16	8,000
電車の科学展 ～電車の知識～	10. 10～11. 10	8,000
たのしい科学玩具展 ～いろいろな科学玩具の展示～	39. 2. 1～ 2. 26	10,000
新しい時計展 ～近代の時計展示～	39. 6. 2～6. 14	————
のびゆく時計展 ～内外の新しい時計～	40. 6. 1～6. 13	12,000
交通の科学展 ～戦後20年のあゆみと近代化～	10. 27～11. 7	20,000
豊田佐吉生誕100年記念展 ～豊田佐吉に関する資料～	41. 4. 10～4. 24	50,000
鉄の本多光太郎展 ～本多光太郎に関する各種資料の展示～	42. 4. 18～5. 7	17,021
カメラの今昔展 ～懐かしいカメラ、新しいカメラの展示～	6. 4～6. 18	12,826
交通の科学展 ～交通の近代化へのあゆみ～	10. 29～11. 12	25,098
電力王福沢桃介生誕100年展 ～福沢桃介に関する資料～	43. 6. 22～7. 7	14,980
蒸気機関車展 ～蒸気機関車に関する各種資料を展示～	10. 2～11. 10	45,943
宇宙科学と望遠鏡展	44. 11. 1～11. 16	30,780
あかりの科学展	45. 11. 1～11. 15	20,517
日本の地震展	46. 7. 22～8. 1	————
月の石と宇宙科学展	47. 1. 9～1. 23	49,876
花火の科学展	47. 9. 15～10. 1	————
世界の鉄道展 ～未来の交通～	10. 29～11. 12	36,000
のびゆく国際通信展	48. 4. 24～5. 6	————
コペルニクス展 ～生誕500年～	49. 1. 4～1. 20	————
写真の科学展 ～写真のあゆみ～	49. 10. 27～11. 10	18,994
からくりの科学展 ～からくり人形、文献及び実演～	50. 5. 17～6. 1	11,112
ステレオの科学展 ～蓄音機のあゆみ～	11. 1～11. 16	20,247
写真で見る懐かしの名古屋展	51. 11. 3～11. 14	2,546
地図の科学展	52. 3. 19～4. 3	7,000
日本の科学技術の源流を探る	52. 10. 29～11. 13	7,263
記録で見る巨大地震	53. 1. 7～1. 22	5,222
日本化学会創立100周年記念展 ～日本の化学100年のあゆみ～	53. 10. 17～10. 29	5,000
消防展 ～江戸から近代消防まで～	54. 2. 17～3. 4	12,341
夢ののりもの科学展	54. 7. 21～8. 5	33,218
電気100年展 ～エジソン電球からLSIまで～	10. 27～11. 1	15,588
科学者レオナルド・ダビンチ展	55. 7. 26～8. 10	21,000
北京原人展 ～日本人のルーツをさぐる～	10. 18～11. 30	100,088
時計展 ～江戸から昭和初期まで～	57. 3. 6～3. 21	13,835
エネルギーの科学展	57. 7. 24～8. 15	45,102
新コミュニケーション展	58. 10. 14～11. 6	19,520
はかる ～長さ・重さ・時間～	59. 3. 17～3. 29	9,409
サイエンス・アート	59. 7. 25～8. 5	15,013
科学のひろば ～みよう、ためそう、ふれよう～	60. 8. 1～8. 11	15,767
恐竜イグアノドン展	10. 8～11. 24	57,594
鉄道の科学	61. 7. 26～8. 10	25,000
NHK地球大紀行展	62. 4. 25～5. 24	100,758
ザ・カメラ展	8. 6～8. 16	15,767
オルゴールの科学	63. 7. 28～8. 7	15,799

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
人類誕生 400 万年展	平元. 4. 29～ 6. 18	106, 795
第 1 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'89	7. 7～ 7. 23	5, 777
特別展 世界最新のホログラフィ	7. 29～ 9. 10	30, 260
特別展 スミソニアン ～アメリカの大発明展～	11. 3～12. 3	7, 230
特別展 発明王エジソン展	2. 4. 21～ 6. 17	78, 775
特別展 恐竜時代 ～日本と中国～	7. 21～ 8. 31	104, 335
企画展 ミクロの世界 ～細胞生物学へのとびら～	10. 20～11. 11	46, 929
企画展 世界を変えた科学書 ～科学・工学のルネサンス～	3. 4. 27～ 5. 12	33, 805
特別展 ロボットワールド ～夢と遊びを科学する～	7. 20～ 9. 1	106, 013
第 2 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'91	10. 10～11. 10	54, 691
特別展 生命の大進化展	4. 3. 20～ 5. 10	69, 039
特別展 ザ・化学展'92	4. 7. 18～ 8. 30	72, 459
企画展 ふれあい地球ひろば	11. 1～11. 12	32, 409
第 3 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'93	5. 4. 23～ 6. 6	50, 534
特別展 のりもの大集合展	7. 17～ 8. 31	88, 482
企画展 ガラスの科学展(電気室事故により途中打ち切り)	6. 3. 19～ 3. 24	8, 770
企画展 '93 名古屋タンポポ調査隊報告展	6. 7. 1～ 7. 17	28, 441
特別展 ふしぎ体感!! マジカル・サイエンス	7. 21～ 8. 31	101, 323
特別展 世界のモーターサイクル歴史展	9. 10～10. 16	30, 301
特別展 知られざるサメの世界展	11. 23～ 7. 1. 8	36, 251
企画展 エネルギー体験館 ～みよう・ふれよう電気の世界～	7. 1. 14～ 1. 29	29, 289
企画展 遺伝子のひ・み・つ	3. 18～ 4. 2	31, 118
第 4 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'95	7. 4. 28～ 6. 25	41, 855
特別展 パリ発! 科学と遊ぶ夢空間「ラ・ビレット展」	7. 22～ 8. 31	48, 637
特別企画 クリスタルワールド ① 特別展 スミソニアン博物館「大宝石・鉱物展」 ② 企画展 「結晶の科学展」	9. 9～10. 29	74, 789
特別展 シルクロード大恐竜展	8. 3. 23～ 5. 26	94, 384
特別展 ニュートンのおもしろサイエンス	8. 7. 20～ 9. 1	52, 472
特別展 大生命展	10. 10～11. 17	21, 499
特別行事 '96 青少年のための科学の祭典	11. 23～11. 24	11, 533
企画展 人間のあしのふしぎ	9. 3. 16～ 3. 30	25, 142
第 5 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'97	9. 6. 6～ 7. 6	29, 690
特別展 クジラ・イルカ大研究	7. 19～ 8. 31	51, 138
企画展 空気と遊ぼう	9. 13～ 9. 28	27, 914
超空間展'97	10. 7～10. 26	31, 326
企画展 鉄道模型 50 年のあゆみ	11. 22～11. 24	10, 480
緊急企画 ポカポカ地球は大変! 君ならどうする? ～地球温暖化を科学しよう～	10. 2. 10～ 3. 1	22, 114
特別展 うごく・かなでる楽器たち ～オーケストラからオルゴールまで～	3. 21～ 5. 10	33, 107
ミニ企画展 科学と遊ぶ木のおもちゃ展	10. 4. 1～ 6. 30	147, 197
特別展 メディアトンネル探検隊～象形文字からインターネット～	7. 18～ 8. 30	47, 600
特別展 大恐竜展 ～失われた大陸ゴンドワナの支配者～	10. 31～11. 1. 17	99, 484
企画展 '98 名古屋タンポポ調査隊報告展	12. 19～11. 1. 17	78, 466
特別展 鳥のルーツを探る ～恐竜は絶滅しなかった!?～	11. 3. 20～ 5. 16	45, 218
特別展 発見!! 石の王国 ～今明かされる地球の秘密～	11. 7. 17～ 8. 31	62, 574
企画展 かがく遊び ～家でできる化学の実験～	9. 15～ 9. 26	17, 503
特別展 中部地質情報展 ～20 億年のタイムトラベル～	9. 15～10. 11	45, 529
特別展 カオを学ぶ カオで遊ぶ ～大「顔」展～	10. 30～12. 1. 30	96, 867
特別展 宇宙展 2000 ～さあ始めよう時空の旅～	12. 3. 18～ 5. 14	64, 504

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
特別展 匠(たくみ)のサイエンス	平 12. 7. 15～ 8. 31	39, 140
緊急企画展 これが東海豪雨だ	10. 13～12. 28	88, 994
企画展 君も気象予報士	13. 3. 17～ 3. 31	18, 669
ゴールデンウィーク企画展 「鉄道模型であそぼう」	13. 4. 29～ 5. 6	36, 505
特別展 からだ・ふしぎ発見	7. 20～ 9. 2	59, 387
企画展 素材とわたちの科学=建築とE. トロハ展 ～過去・現在・未来～	10. 11～10. 30	3, 517
企画展 野依良治 ノーベル化学賞への道	14. 1. 25～ 3. 3	38, 263
企画展 光とあそぼう	3. 16～ 3. 31	23, 509
特別展 目でみる『がん』展	14. 4. 13～ 6. 30	32, 395
開館 40 周年記念特別展 ロボットワールド	7. 20～ 9. 1	118, 878
企画展 鉄道模型であそぼう	11. 3～11. 4	6, 297
特別展 水俣・名古屋展	11. 16～15. 1. 13	8, 064
企画展 小柴・田中 ノーベル賞展	15. 1. 25～ 3. 2	53, 109
企画展 地球のデザイン	3. 15～ 3. 30	21, 638
特別展 手で考える!? 木組みからくり展	15. 7. 19～ 8. 31	88, 334
特別展 アート オブ スター・ウォーズ展	10. 18～12. 7	40, 272
古川為三郎サイエンス企画展 水とあそぼう	16. 3. 20～ 4. 4	26, 916
特別展 むし虫ワールド	16. 7. 18～ 8. 31	140, 661
古川為三郎サイエンス企画展 光る生きものたち ～輝く魅力と探求の浪漫	17. 3. 19～ 4. 3	19, 804
特別展 庶民の算術展	17. 4. 29～ 6. 26	3, 969
特別展 Go! Go! ゴールド	7. 16～ 8. 31	46, 018
なるほど・THE・エネルギー 科学市場	11. 3～11. 16	17, 710
古川為三郎サイエンス企画展 よみがえるレオナルド・ ダ・ヴィンチ「手稿」アイデアからの再現	18. 3. 18～ 4. 2	28, 916
特別展 のりものワールド	18. 7. 22～ 9. 3	85, 214
特別展 脳!～内なる不思議の世界へ	10. 7～12. 3	25, 170
古川為三郎サイエンス企画展 みんなで考える地球温暖化	19. 3. 17～ 4. 8	56, 219
特別展 ようこそ恐竜ラボへ～研究現場はこんなにおもしろい	3. 17～ 5. 27	57, 696
特別展 ザリガニワールド	19. 7. 21～ 9. 2	74, 334
企画展 地図記号わくわく大図鑑	9. 22～ 9. 30	14, 983
古川為三郎サイエンス企画展 よくわかる地球のこと	10. 13～10. 28	20, 110
企画展 名古屋城を科学する～ヒメボタルの巻	11. 3～20. 1. 14	70, 849
特別展 世界最大の翼竜展	20. 3. 20～ 6. 15	92, 024
特別展 発明ワールド～エジソンと日本の発明～	20. 7. 19～ 8. 31	48, 340
企画展 小林・益川・下村ノーベル賞展	21. 1. 31～ 3. 15	56, 537
古川為三郎サイエンス企画展 建築家になってみよう	3. 20～ 4. 5	27, 689
企画展 名古屋城を科学する パート2 ～本丸御殿復元の意義	3. 20～ 4. 5	27, 689
特別展 お菓子の秘密	21. 7. 18～ 8. 31	90, 521
古川為三郎サイエンス企画展 ガリレオの天体観測から 400 年 宇宙の謎を解き明かす	10. 17～11. 29	46, 225
プレ COP10 企画展 肉食恐竜マブサウルス～生命の絶滅と多様化	12. 5～ 3. 14	104, 826
企画展 電気をつくろう	12. 16～ 4. 11	148, 538
企画展 名古屋城を科学する パート3 ～石垣のナゾをときあかす	22. 3. 20～ 4. 4	32, 993

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
天文館・理工館さよならフェスティバル 行こうよ、もう一度！思い出の科学館	平 22. 7. 3～ 8. 31	—————
特別展 ふしぎ！昆虫パワー	7. 17～ 8. 31	87, 589
COP10 開催記念企画展 生物多様性～あいちのニホンカモシカ	22. 10. 11～10. 31	24, 277
緊急企画展 小惑星探査機 はやぶさー帰還カプセル	10. 14～10. 18	17, 752
開館記念 古川為三郎サイエンス企画展 最新の映像技術 深海の不思議	23. 3. 19～ 5. 5	13, 815
特別企画 お化け屋敷で科学する！	23. 4. 23～ 6. 26	72, 886
新館開館記念特別展 黄河大恐竜展～中国・甘肅省大恐竜群の新発見～	7. 16～ 8. 31	157, 822
新館開館1周年記念特別展 OCEAN！海はモンスターでいっぱい	24. 3. 17～ 6. 10	105, 732
特別展 空飛ぶのりもの	24. 7. 21～ 9. 2	58, 323
企画展 見つめてふしぎ！人間の眼	11. 17～12. 2	6, 266
特別展 ドラえもんの科学みらい展	25. 3. 16～ 5. 6	123, 179
特別展 深海たんけん！	25. 7. 20～ 9. 1	136, 660
企画展 [世界を変えた書物] 展	9. 13～ 9. 29	13, 770
企画展 色いろカラフルワールド	11. 16～12. 1	11, 283
特別展 チョコレート展	12. 17～26. 2. 23	108, 414
特別展 発掘！モンゴル大恐竜展	26. 3. 19～ 6. 8	121, 976
特別展 ドラゴンボールで科学する！	26. 7. 16～ 8. 31	106, 746
企画展 教授を魅了した大地の結晶 北川隆司 鉱物コレク ション 200 選	9. 13～ 9. 23	7, 914
特別展 館長 庵野秀明 特撮博物館 ミニチュアで見ると昭和 平成の技	11. 1～27. 1. 12	115, 054
特別展 夢と感動の宇宙展 「宇宙兄弟」ムッタとヒビトが 挑んだ空へ！	27. 3. 14～ 5. 24	88, 015
特別展 錯覚体験 ふしぎワールド！	27. 7. 18～ 8. 31	111, 605
企画展 バイオなものづくり	9. 12～ 9. 23	14, 909
特別展 生命大躍進-脊椎動物のたどった道-	10. 17～12. 13	113, 112
特別展 ポケモン研究所～キミにもできる！新たな発見～	12. 23～28. 3. 6	73, 497
特別展 恐竜・化石研究所	28. 3. 19～ 6. 12	108, 525
特別展 南極へ行こう！！～南極観測60周年記念特別展～	28. 7. 16～ 9. 4	86, 460
企画展 磁石とモーター	9. 17～ 9. 25	13, 360
特別展 チームラボアイランド 踊る！アート展と、学ぶ！ 未来の遊園地	11. 12～29. 2. 12	176, 081
特別展 恐竜の大移動～ティラノサウルス類と角竜の起源と 進化～	29. 3. 18～ 5. 28	99, 220
特別展 ロボットってなんだろう？	7. 15～ 9. 3	76, 156
企画展 さわってビックリ！見てフシギ？ 人間の皮膚	9. 16～ 9. 24	10, 938
特別展 恐竜の卵～恐竜誕生に秘められた謎～	11. 11～30. 2. 25	75, 719
特別展 マーベル展—時代が創造したヒーローの世界—	30. 3. 17～ 6. 10	132, 820

6 観覧料の変遷

(1) 昭和37年11月1日 天文館開館

[全館]	大人	100円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	70円
	小人(小学校児童及び幼児)	50円

(2) 昭和39年11月1日 理工館開館

[全館]	大人	150円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	100円
	小人(小学校児童及び幼児)	70円

[天文館]	大人	100円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	70円
	小人(小学校児童及び幼児)	50円

[理工館]	大人	70円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	50円
	小人(小学校児童及び幼児)	30円

(3) 昭和51年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	200円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	100円

[展示室のみ]	大人	100円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	50円

(4) 昭和59年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	300円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	150円

※展示室のみは据置き

(5) 平成元年4月29日 生命館開館

[全館]	大人	500円
	小人(中学校生徒及び小学校児童)	200円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

[展示室のみ]	大人	250円
	小人(中学校生徒・小学校児童)	100円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

(6) 平成6年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	600円
	小人(中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	100円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

[展示室のみ]	大人	300円
	小人(中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

(7) 平成18年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	600円
	高大生(大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	400円
	小人(小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

[展示室のみ]	大人	300円
	高大生(大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	200円
	小人(小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

(8) 平成23年3月19日 観覧料改定

[全館]	大人	800円
	高大生 (大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	500円
	小人 (小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料
[展示室のみ]	大人	400円
	高大生 (大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	200円
	小人 (小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

利 用 案 内

開館時間	午前9時30分から午後5時00分まで(入館は、午後4時30分まで)							
休館日	(1) 月曜日(祝日の場合は、直後の休日でない日)							
	(2) 毎月第3金曜日(祝日の場合は、第4金曜日)							
	(3) 年末年始(12月29日から1月3日まで)							
観覧料	区 分	当 日			定期観覧券(1年間有効)			
		展示室とプラネタリウム	展示室のみ	展示室とプラネタリウム	展示室のみ			
	大 人	800円	400円	3,200円	1,600円			
	高 大 生	500円	200円	2,000円	800円			
	小人(中学生以下)	無 料						
※団体は、30人以上は1割引、100人以上は2割引								
プラネタリウム 開演時間	投影開始時間 (投影時間約50分)	10:00	11:20	12:40	14:00	15:20	16:40	
	平 日	* 学習投影 一般投影	* 学習投影 一般投影	* 学習投影 一般投影	一般投影	一般投影	一般投影	
	土曜・5/1・5/2 春・冬休み 4/1~4/6・12/24~ 1/6・3/25~3/31	一般投影	一般投影	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	一般投影	
	日曜・祝日 夏休み 7/21~8/31	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	一般投影	
*平日10:00、11:20、12:40の回につきましては、時期により投影内容が変更となります。						定員 345人		
実演実験 演出時間	実演 会場	名 称	平 日			土曜・日曜・祝日及び 5/1・5/2・8/13・8/14・8/15		
	理 工 館	5階	極寒ラボ	10:00 10:30 11:00 11:30 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30	10:00 10:30 11:00 11:30 13:00 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30			
		4階	放電ラボ	10:00 11:00 13:00 14:30 16:00	10:00 11:00 12:00 13:30 14:30 15:30 16:30			
	3階	竜巻ラボ	10:30 12:30 15:00	10:30 11:30 14:30 15:30				
		モノづくり 都市パノラマ	11:30 13:30 15:30	11:00 12:00 14:00 15:00				
	天文館	4階	サイエンス ステージ	11:00 12:00 14:00	11:00 13:00 14:00 15:00 16:00			
生命館	5階	生命ラボ	14:00	11:00 15:00				

(設置)

第 1 条 博物館法(昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。)第 18 条の規定に基づき、近代科学に関する知識の普及啓発を目的として、次のように科学館を設置する。

名称 名古屋市科学館

位置 名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

(事業)

第 2 条 名古屋市科学館(以下「科学館」という。)は、その目的達成のために次の事業を行う。

- (1) 科学に関する資料及び装置の展示
- (2) プラネタリウムによる天体運行等の映写及び天文観測の指導
- (3) 科学に関する図書の備付け並びに研究会、講習会、映画会等の開催
- (4) 科学技術に関する調査研究及び科学資料等の刊行
- (5) 科学知識の普及啓発に必要な他機関との協力
- (6) その他教育委員会(以下「委員会」という。)が必要と認める事業

(観覧料)

第 3 条 科学館に入館しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納付しなければならない。

第 4 条 削除

(観覧料の減免)

第 5 条 委員会は、次の各号に掲げる者について、それぞれ当該各号に定める額を、別表に規定する個人の観覧料の額から減免する。ただし、第 1 号に定める額を減免した後の観覧料の額が 100 円未満となる場合の観覧料の額は、100 円とする。

- (1) 市内に住所を有する 65 歳以上の者 当該観覧料の 3 分の 2 の額(100 円未満の端数は、切り上げる。)
- (2) 身体障害者福祉法(昭和 24 年法律第 283 号)第 15 条に規定する身体障害者手帳の交付を受けている者その他の教育委員会規則で定める者 当該観覧料の全額

2 前項に定めるもののほか、委員会は、特別の事由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料等の不還付)

第 6 条 既納の観覧料及び料金は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めたときは、これらの全部又は一部を還付することができる。

(秩序保持)

第 7 条 次の各号の一に該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) でい酔者又は伝染性の疾患があると認められる者
- (2) 管理上必要な指示に従わない者
- (3) その他管理上支障があると認められる者

(損害賠償等)

第 8 条 建物、展示品、図書及びその他の器物を損傷し、又は滅失させた者は、これらを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(職員)

第 9 条 科学館に、館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(科学館協議会)

第 10 条 法第 20 条第 1 項の規定に基づき、科学館に名古屋市科学館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会の委員(以下「委員」という。)の定数は、15 人以内とする。
- 3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、委員会が委嘱する。
- 4 委員の任期は、2 年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任されることができる。
- 6 委員会は、特別の事由があると認めるときは、任期中においても、委員を解任することができる。

(観覧時間等)

第 11 条 科学館の観覧時間及び休館日等に関しては、教育委員会規則で定める。

附 則 抄

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 科学館の一般公開を開始する日は、市長が定める。

附 則(昭和 39 年条例第 64 号)

この条例は、昭和 39 年 11 月 1 日から施行する。

附 則(昭和 41 年条例第 19 号)

この条例は、名古屋都市計画事業復興土地区画整理事業施行地区内の中第 1 工区及び中第 2 工区に係る土地区画整理事業の換地処分公告があった日の翌日から施行する。

附 則(昭和 51 年条例第 17 号)

この条例は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(昭和 55 年条例第 10 号)

この条例は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(昭和 59 年条例第 26 号)

この条例は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成元年条例第 4 号)

この条例は、平成元年 4 月 29 日から施行する。

附 則(平成 6 年条例第 7 号)

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 6 年条例第 17 号)

この条例は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 17 年条例第 112 号)

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成 22 年条例第 5 号)

1 この条例の施行期日は、規則で定める。

(平成 23 年規則第 2 号で平成 23 年 3 月 19 日から施行)

2 この条例による改正前の名古屋市科学館条例別表の定期観覧券を使用する場合に係るこの条例の施行の日以後の使用については、なお従前の例による。

附 則(平成 24 年条例第 8 号)

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

別表

区分	観覧料の額			
	1 回券(1 人につき)			定期観覧券 (1 年券)
	個人	団体		
		30 人以上 100 人未満	100 人以上	
一般	800 円	720 円	640 円	3,200 円
	(400 円)	(360 円)	(320 円)	(1,600 円)
大学生又は高校生	500 円	450 円	400 円	2,000 円
	(200 円)	(180 円)	(160 円)	(800 円)

備考

- 1 一般とは、15 歳以上の者(「大学生又は高校生」及び中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。)をいう。
- 2 大学生又は高校生とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校又はこれらに準ずる学校に在学する者をいう。
- 3 小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校又はこれらに準ずる学校に在学する者は、無料とする。
- 4 ()内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。
- 5 特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合における観覧料の額は、この表に定める 1 回券の金額を超え当該金額に 3 を乗じて得た額までの金額とすることができる。
- 6 特殊の装置を自ら運転する者は、この表に定める観覧料のほか、委員会が定める料金を納付しなければならない。

○名古屋市科学館条例施行規則

昭和 55 年 3 月 28 日
教育委員会規則第 3 号

(趣旨)

第 1 条 名古屋市科学館条例(昭和 37 年名古屋市条例第 27 号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項は、別に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(開館時間等)

第 2 条 名古屋市科学館(以下「科学館」という。)の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとし、科学館に入館することができる時間(次項において「入館時間」という。)は、午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分までとする。

2 教育委員会(以下「委員会」という。)は、必要があると認めるときは、前項の開館時間又は入館時間を変更することができる。

(休館日)

第 3 条 科学館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号。以下「法」という。)に規定する休日にあたるときは、その直後の法に規定する休日でない日)

(2) 毎月第 3 金曜日(法に規定する休日にあたるときは、第 4 金曜日)

(3) 12 月 29 日から 1 月 3 日まで

2 委員会は、特に必要があると認めるときは、休館日を臨時に定め、又は前項の休館日を変更することができる。

(団体の人員の計算)

第 4 条 条例別表に規定する団体の人員の計算は、団体を構成する総人員(観覧料を納付しない者を除く。)によって行う。

(観覧券)

第 5 条 観覧料の徴収と引き換えに、観覧券を発行する。ただし、委員会が特別の事由があると認めるときは、観覧料を後納させることができる。

(観覧券の種類)

第 6 条 観覧券は、科学館観覧券、科学館(プラネタリウム室を除く。)観覧券、団体観覧券、団体観覧券(プラネタリウム室を除く。)、定期観覧券及び定期観覧券(プラネタリウム室を除く。)とする。

2 条例別表に規定する特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合においては、前項の規定にかかわらず、その都度、当該特別の催しを象徴するような特別観覧券を発行することができる。

3 観覧券の様式は、別に定める。

第 7 条 削除

(観覧券の改札)

第 8 条 観覧券の発行を受けた者は、入口において観覧券の改札を受けなければならない。
(観覧料の減免)

第 9 条 条例第 5 条第 1 項第 2 号に規定する規則で定める者は、次に掲げる手帳又は受給者証のいずれかの交付を受けている者とする。

- (1) 身体障害者福祉法(昭和 24 年法律第 283 号)第 15 条に規定する身体障害者手帳
- (2) 戦傷病者特別援護法(昭和 38 年法律第 168 号)第 4 条に規定する戦傷病者手帳
- (3) 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律(平成 6 年法律第 117 号)第 2 条に規定する被爆者健康手帳
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和 25 年法律第 123 号)第 45 条に規定する精神障害者保健福祉手帳
- (5) 市長の発行する愛護手帳(これに類する療育手帳等を含む。)
- (6) 難病の患者に対する医療等に関する法律(平成 26 年法律第 50 号)第 7 条に規定する医療受給者証
- (7) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成 17 年法律第 123 号。以下「障害者総合支援法」という。)第 22 条第 8 項に規定する障害福祉サービス受給者証(障害者総合支援法第 4 条第 1 項の政令で定める特殊の疾病に罹患している者(以下「特殊疾病者」という。)に係るものに限る。)
- (8) 障害者総合支援法第 51 条の 7 第 8 項に規定する地域相談支援受給者証(特殊疾病者に係るものに限る。)
- (9) 市長の発行する移動支援・地域活動支援受給者証(これに類するものを含む。)(特殊疾病者に係るものに限る。)

2 条例第 5 条第 2 項の規定により観覧料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 幼稚園、小学校若しくは中学校又はこれらの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として幼児、児童又は生徒の引率者が入館する場合 観覧料の全額
- (2) 市内の高等学校又はこの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として生徒及びこれらの者の引率者が入館する場合 観覧料の 5 割相当額
- (3) 児童福祉法(昭和 22 年法律第 164 号)に規定する児童福祉施設に入所している児童及びその引率者が教育上の目的で入館する場合 観覧料の全額
- (4) 前項に定める者に同行する介護者(前項に定める者 1 人につき 2 人以内に限る。)が入館する場合 観覧料の全額
- (5) 市内に住所を有する 65 歳以上の者(以下「市内の高齢者」という。)が定期観覧券により入館する場合 観覧料の額に 3 分の 2 を乗じて得た額(100 円未満の端数は、切り上げる。)
- (6) 市内の高齢者が条例別表に規定する団体の構成員として入館する場合 次の表に定める額

区分	団体	
	30人以上 100人未満	100人以上
一般	540円 (270円)	480円 (240円)
大学生又は高校生	360円 (90円)	320円 (80円)
備考 ()内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。		

(7) その他委員会が特別の事由があると認める場合 その都度委員会が定める額
(観覧料の減免申請手続)

第10条 前条第2項(第4号から第6号までを除く。)の規定による観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書(別記様式)を委員会に提出しなければならない。ただし、同項第7号の規定による場合において委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(共通観覧券)

第10条の2 委員会は、必要があると認めるときは、他の施設との共通観覧券を発行することができる。

2 前項の共通観覧券の様式は、別に定める。

(優待券等)

第11条 委員会は、必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

(観覧券付クーポン)

第12条 委員会は、特に必要があると認める場合に限り、旅客輸送を主たる業務とする者又は旅行業法(昭和27年法律第239号)により旅行業の登録を受けた者と共同して観覧券付クーポンを発行することができる。

2 前項の観覧券付クーポンを発行する場合の観覧料の額は、そのつど委員会が定める。

(観覧料の還付)

第12条の2 条例第6条ただし書の規定により既納の観覧料の全部又は一部を還付する場合は、次のとおりとする。

(1) 科学館の展示室又はプラネタリウム室(以下「展示室等」という。)を利用しようとする者の責めに帰することのできない理由によって展示室等を利用することができなくなったとき。

(2) その他委員会が特別の理由があると認めるとき。

(協議会の会長及び副会長)

第 13 条 名古屋市科学館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長 1 人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は、1 年とする。ただし、再任を妨げない。

3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第 14 条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、定例会及び臨時会とする。

3 定例会は、毎年 2 回招集する。

4 臨時会は、必要に応じて招集する。

5 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

6 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(説明又は資料の請求等)

第 15 条 会長は、会議において関係職員に対し説明又は資料の提出を求めることができる。

2 関係職員は、会議に出席して意見を述べるができる。

(協議会の庶務)

第 16 条 協議会の庶務は、科学館において行う。

(委任)

第 17 条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

1 この規則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規則施行の際現に市立名古屋科学館条例施行細則(昭和 37 年名古屋市規則第 70 号。以下「旧規則」という。)の規定に基づく優待券を所持する者の使用については、なお従前の例による。

3 この規則施行の際現に旧規則に基づいて提出されている観覧料減免申請書は、この規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

4 この規則施行の際現に旧規則の規定に基づいて調製されている観覧券及び観覧料減免申請書は、残量のある限り、使用することができる。ただし、観覧料減免申請書については、この規則の様式の要件を満たすよう修正するものとする。

附 則(昭和 56 年教育委員会規則第 7 号)

この規則は、昭和 56 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(昭和 59 年教育委員会規則第 5 号)

1 この規則は、昭和 59 年 4 月 1 日から施行する。

2 この規則施行の際現にこの規則による改正前の市立名古屋科学館条例施行規則の規定により調製されている科学館観覧券は、この規則による改正後の市立名古屋科学館条例施行規則(以下「改正後規則」という。)の規定にかかわらず、残量のある限り、改正後規則の様式の要件を満たすように修正して使用することができる。

附 則(昭和 63 年教育委員会規則第 14 号)

この規則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(平成元年教育委員会規則第 9 号)

- 1 この規則は、平成元年4月29日から施行する。
- 2 この規則施行の際現にこの規則による改正前の市立名古屋科学館条例施行規則の規定に基づいて提出されている観覧料減免申請書は、この規則による改正後の名古屋市科学館条例施行規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。
- 3 教育長専決規則(昭和31年名古屋市教育委員会規則第13号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則(平成4年教育委員会規則第2号)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則(平成5年教育委員会規則第15号)

1 この規則は、平成5年6月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の名古屋市立養護学校学則等の規定に基づいて作成されている申請書等は、この規則による改正後の名古屋市立養護学校学則等の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。

附 則(平成6年教育委員会規則第1号)抄

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて提出されている申請書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

4 この規則の施行の際現に第1条及び第2条の規定による改正前の各規則の規定に基づいて作成されている用紙で残量のあるものについては、これらの規定による改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、使用することができる。

附 則(平成6年教育委員会規則第8号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成6年教育委員会規則第17号)抄

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成7年教育委員会規則第13号)

この規則は、平成7年12月1日から施行する。

附 則(平成13年教育委員会規則第4号)

1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて提出されている申請書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて交付されている許可書は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて交付されたものとみなす。

4 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて作成されている用紙で残量のあるものについては、この規則による改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。

附 則(平成13年教育委員会規則第5号)

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて定められている観覧券等の様式は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて定められたものとみなす。

附 則(平成15年教育委員会規則第14号)

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則(平成16年教育委員会規則第14号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成17年教育委員会規則第26号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成22年教育委員会規則第12号)

この規則は、名古屋市科学館条例の一部を改正する条例(平成22年名古屋市条例第5号)の施行の日から施行する。

(施行の日＝平成23年3月19日)

附 則(平成23年教育委員会規則第31号)

この規則は、平成24年1月21日から施行する。

附 則(平成26年教育委員会規則第15号)抄

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成28年教育委員会規則第19号)

この規則は、平成28年10月1日から施行する。

附 則（平成 29 年教育委員会規則第 14 号）
 この規則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

別記様式(第 10 条関係)

名古屋市科学館観覧料減免申請書	
年 月 日	
(あて先)名古屋市教育委員会 (申請者) 住 所(団体は主な事務所の所在地及び名称) 氏 名(団体は代表者氏名) 電話 自宅(団体は主な事務所) 勤務先 次のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。	
観 覧 の 種 別	
観 覧 年 月 日	年 月 日
観 覧 の 人 員	
引率者の職氏名	
観 覧 の 目 的	
減免を受けようとする理由	
減免を受けようとする金額	
そ の 他	

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

位置略図



交通アクセス

- 地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車 4,5番出口から南へ徒歩5分
- 市バス「広小路伏見」下車 南へ徒歩5分
- 名鉄バス「白川公園前」下車 北へ徒歩5分

名古屋市科学館要覧

(平成30年度)

発行 名古屋市科学館
発行年月 平成30年8月

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



名古屋市科学館
NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

(芸術と科学の杜・白川公園内)

TEL (052) 201-4486

FAX (052) 203-0788

団体予約専用 TEL (052) 231-9771

インターネットホームページ <http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>